

工学部・工学研究科資料集

2025.11 Vol.17

福 岡 大 学

工学部・工学研究科資料集

福 岡 大 学

工 学 部
工 学 研 究 科

令和6年度 工学部・工学研究科資料集 目次

1	工学部の教育活動・教育改善活動	
1.1	工学部全体の教育改善活動	2
1.2	各学科の教育活動および教育改善活動	2
2	大学院工学研究科の教育活動	
2.1	入試状況	16
2.2	学生在籍状況	17
2.3	学年暦	18
2.4	専門科目一覧	19
2.5	修士論文と博士論文、学生が受賞した学術賞	28
3	研究活動	
3.1	学術論文と学会発表、学術賞	35
3.2	科学研究費採択課題一覧	36
3.3	産学連携活動の外部資金(受託研究・研究助成・共同研究)	37
4	入学・広報活動	
4.1	入試制度	38
4.2	入試状況	39
4.3	模擬講義	40
5	教務・図書・学生支援	
5.1	学生在籍状況	41
5.2	学年暦	42
5.3	専門科目一覧	43
5.4	図書工学部分室書籍貸出数	49
5.5	学生が取得した資格	50
5.6	「学習意欲向上と工学基礎教育の充実」プロジェクト	51
6	国際交流	
6.1	学生の留学状況	53
6.2	大学間協定・部門間協定	53
7	就職・進路状況	
7.1	就職状況	55
7.2	大学院進学	57
8	地域貢献	
8.1	社会へのサービス活動	60
8.2	社会へのボランティア活動	61
8.3	学外組織との連携協力による教育研究の推進	66
9	工学部・工学研究科の組織体制	67

はじめに

工学部長 辰巳 浩
工学研究科長 佐藤 寿倫

本資料集は、工学部および工学研究科の活動状況を記録に残し学内外に公開するために、第1号の工学部・工学研究科報を2005年11月に発行して以来、今回で17回目の発行となります。

令和6年度における工学部および工学研究科の様々な活動や取り組みの状況をまとめています。教育・教育改善活動については、工学部全体および各学科・研究科の各専攻の活動を記載し、研究活動、入学・広報活動、教務・図書・学生支援、国際交流、就職・進路状況については、現状と改善点などを記載しています。また、社会へのサービス活動やボランティア活動、学外組織との連携協力による教育研究の推進といった地域貢献については新たな取り組みの内容を記載しています。

これらの活動記録は、工学部・工学研究科における教育・研究の継続的な取り組みを体系的に示すものであるとともに、時代の要請や社会のニーズに対応すべく努力した成果を示すものです。

1962年に機械工学科・電気工学科で創立された工学部は、今後もより一層の教育の質向上に取り組み、環境の充実を図っていきたいと思います。また、学部・学科の垣根を越えた新しい教育やプロジェクトを進めていきたいと考えています。

第1章 工学部の教育・教育改善活動（令和6年度）

1.1 工学部全体の教育改善活動

1.1.1 教育改善活動

(1) 共通教育センター・工学部懇談会

例年、年度末に開催していたが、年度末の日程調整が困難であったため、年度が明けてから6月に対面での懇親会を実施した。共通教育センターよりVELCテスト、TOEIC単位認定、共通教育センター主催行事に関する資料の提供を受け、工学部内各学科からの意見聴取を行った。工学部からは、コロナ禍以降、中止されている各種行事（English Plaza等）の再開を希望する旨、平田センター長に申し伝えた。

(2) 理学部・工学部懇談会

令和7年3月21日に理学部・工学部懇談会を開催し、主に工学共通科目に関する意見交換を行った。理学部からは物理学実験のテキスト改訂について報告がなされた。工学部からは学生実験の出席や課題提出状況の共有、基礎物理化学の教科書に関する要望と確認等の議題が提供され、熱心な議論が行われた。また時間割編成会議の報告と協力に関する感謝、電話設置の施設要望に対する報告、単位認定についても議論がなされた。特に学生の出席管理や履修者数減少への対応、教職科目の見直しなど今後の課題も指摘され、今後も両学部間で連携強化と柔軟な対応が求められる旨、合意された。

1.1.2 活動全般の成果および点検・評価

(1) 共通教育センターおよび理学部との懇談会

共通教育センターとの対面での懇談会を6年ぶりに実施した。対面で実施したことにより昨年度より踏み込んだ意見交換が可能となった。理学部・工学部懇談会では、理学部から工学共通科目の状況に関する状況の説明がなされ、情報が共有された。

1.2 工学部各学科の教育活動および教育改善活動

1.2.1 機械工学科

1.2.1.1 教育活動

通常の教育活動に加えて、教育効果の向上、キャリア教育の充実を目的として以下の活動を実施した。

(1) 履修登録ガイダンス（令和6年4月5日）・学科指導懇談会（令和6年4月9日）

新入生対象。履修登録ガイダンスでは、福大IDを利用したサービスに接続するための研修、履修登録に関する説明を行った。学科指導懇談会では、学科主任からの学科の概要説明、各教員からの挨拶などを実施した。

(2) 新入生スタートアップセミナー（令和6年4月8日）

新入生を対象に、外部講師を招いてチームビルディングの手法を取り入れた活動を実施し、新入生同士の交流機会を創出した。

(3) キャリア教育（就職説明会）（令和6年9月30日）

3年生を対象に、キャリアセンターと学科の就職説明会を合同で実施した。このほか、通年でキャリア教育（進路相談、進路情報提供、面接対策、OBによる学科・研究室訪問）を行った。

(4) 研究室説明会（令和6年12月6日）

3年生を対象に、各研究室の担当教員から、研究室の概要、研究テーマ、卒業研究の活動内容、ならびに大学院での取り組みについて説明を行った。これにより、卒業研究の配属希望調査や進路設計に活用されることが期待される。

1.2.1.2 教育改善活動

令和5年度の学科会議において、教育改善に関する以下の項目について検討を行った。

(1) 副担任制の運用方法、面談の実施や面談記録の共有方法に関する検討

（令和6年4月3日、4月17日、5月8日、5月22日、7月17日、9月25日）

(2) 学生支援体制の充実に関する取り組みについて

（令和6年4月17日）

(3) 工学部教育に関する会議の報告

（令和6年4月17日、6月12日、7月17日、11月27日、12月12日、令和7年1月23日、2月26日）

(4) 開講科目・カリキュラム改正についての検討

（令和6年10月9日、11月27日）

(5) 卒論・設計演習など研究室間で連携する科目の運用についての検討

（令和6年11月13日、12月6日、令和7年1月8日、3月12日）

(6) 次年度の新入生対応の改善に関する検討

（令和6年10月9日、10月23日、令和7年3月12日）

1.2.1.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項無し。

1.2.1.4 活動全般の成果および点検・評価

(1) 令和5年度の入学生から、卒業論文を必修科目とすることとした。これまで卒業論文の履修者は多かったものの、他の選択科目と同列に捉える学生も一部おり、これまでに修得した知識を有機的に結び付けて問題解決に取り組むという、本科目の本質的な意義が十分に理解されていなかった。今回の必修化により、すべての学生が卒業研究を通じて問題解決能力を体系的に養う機会を得られるようになる点は、大きな意義があると考え

られる。一方で、卒業論文という科目の運用方法については、学生の負担や指導体制、評価基準などの観点から、今後も継続的な改善が求められる。

- (2) 新入生を対象に、新学期の授業開始前に対面形式でスタートアップセミナーを実施した。参加した新入生からは大変好評を博し、対面による交流の重要性が改めて認識された。
- (3) 副担任による面談の結果、成績の改善が見られるケースもあり、一定の成果が認められた。一方で、対象者の増加に伴い、面談記録の作成や共有といった業務面では、教職員の負担を軽減するための工夫が今後の課題となっている。

1.2.2 電気工学科

1.2.2.1 教育活動

- (1) 新入生スタートアップセミナーの実施

開催日：令和6年4月8日（月）

参加者：新1年生

内容：グループワーク「チームビルディング（副題：学び合う仲間をつくろう）」を通して、新入生同士の仲間づくりを促進し、大学生活を円滑に始めるきっかけとする。

- (2) 新入生学科懇談会の実施

開催日：令和6年4月9日（火）

参加者：新1年生 および 全教員

内容：教授・准教授・助教の自己紹介、担当科目および研究分野の紹介。

学科が奨励する国家資格等の資料配布・説明。

学生生活上の注意など。

- (3) キャリア教育（学科独自の就職説明会）

開催日：令和6年10月29日（火）

参加者：3年生

内容：電気工学科の就職状況や傾向、自由応募と推薦応募の違い、キャリアセンターと学科独自の支援体制について説明。

1.2.2.2 教育改善活動

- (1) 修学指導の実施方法の検討（令和6年4月16日）

修学指導において、面談日をどのように設定するかについて検討を行った。面談には保護者が同席する必要はないが、保護者の同席を期待するならば面談日を土曜日とすることが望ましいことを確認した。

- (2) 学科サーバへの成績情報登録の検討（令和6年7月2日）

科目ごとの成績を学科サーバにアップロードし、学生の便宜をはかることについて検

討を行った。成績発表後であれば問題ないとされ、基本的な方向として学科サーバに成績をアップロードする方向で進めることになった。ただし、情報セキュリティの観点から FU_box 以外のストレージに成績情報を保存することへの懸念もあり、さらに検討を進めていくことになった。

(3) 1年生科目「基礎電気工学」の実施方法の検討(令和6年9月9日)

授業計画にゆとりをもたせるため、従来の第1回の全体説明会を廃止し、第1回目から少人数クラスでの開催を行うことになった。さらに、演習問題の解答を公開する手順について(Moodleを利用)検討を行った。また、確認テストの問題作成、配点案作成について確認を行った。

(4) 情報系科目の内容見直しの検討(令和6年10月22日)

情報系科目の学習効果を向上させるため、内容見直しについて検討を行った。科目において採用しているプログラミング言語の変更も含め、有効な見直し策を見出すことができなかつたため、ひとまず現状の科目内容を継続することになった。

(5) 1年生科目「基礎電気工学」への初年次教育導入の検討(令和6年11月12日)

1年生科目「基礎電気工学」に初年次教育を追加することについて検討を行った。従来の演習に、(1)電気工学の学び方、(2)レポート、プレゼンテーションの技法、の2つの内容を加えることになった。

(6) 学生同士の「ピアサポート」活動実施の検討(令和6年12月10日)

学生どうしが互いに教えあい、支えあう、「ピアサポート」活動を実施することについて検討を行った。勉強会を開催すること、教員のサポート等について、具体的に立案していくことになった。

1.2.2.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項無し。

1.2.2.4 活動全般の成果および点検・評価

- (1) 従来調査、検討が進められてきた、PCB 混入の絶縁油を使用している高電圧装置の取り扱いにおいては、令和7年度以降に環境保全センターの協力のもと廃棄する方向で進められている。また、装置の更新についても、令和7年度をめどに方針を決定することになっている。
- (2) コロナ禍が学生に及ぼした影響は大きい。そのような「新しい学生たち」に対してどのように教育を行っていくか、学科全体で継続して取り組むべき課題である。定期面談、修学指導の機会を増やすことにより学生ひとりひとりと直接対話すること、また、「ピアサポート」活動によって学生どうしが積極的に関わりあう機会作ることなどが、教育内容を向上させることに繋がると期待される。

1.2.3 電子情報工学科

1.2.3.1 教育活動

例年通り、通常の教育活動に加えてキャリア教育を充実するために以下の活動を行った。

(1) 新入生スタートアップセミナーの実施

開催日：4月8日

場 所：A棟 702, 703, 10号館 1022, 1023

内 容：新入生間のネットワーク構築を支援すべく、スタートアップセミナーを実施した。また、教員を交えたセッション「総当たりインタビュー」も実施した。

(2) 「先輩と語る」の実施

開催日：5月17日

場 所：1121教室

内 容：1年生科目「電子情報工学特論」の1コマを使って「先輩と語る」を実施した。

講 師：山路 重紀 様(来々軒店主/2001年電子情報工学科卒)、矢野 博幸 様(株式会社トライアルホールディングス/1987年経済学部経済学科卒)

演 題：「システムエンジニアの仕事とキャリア」「AIを活用した流通改革」

(3) SPIの模擬テストの実施

開催日：5月10日

場 所：1121教室

内 容：1年生に対してSPIの模擬テストを実施した。

開催日：後期期間

内 容：3年生に対しては、教室に集めての模擬テストは行わず、各自で受験するかたちで模擬テストを実施した。

(4) 電子情報産業論の実施

開催日：5月31日, 6月21日, 7月12日, 7月19日

場 所：1111教室

内 容：2年生科目「電子情報基礎演習」の4コマを使って「電子情報産業論」として、企業から招いた講師による電子通信産業・情報産業における最新の技術・トレンド・技術者としての仕事に関する講演を実施した。

演 題：「電子情報産業の動向を知る：J:COMのサービス・技術概要」

講 師：田口 和博 (JCOM 株式会社)

演 題：「IT業界の仕事は多種多様で日々進化！：ユーザ世代のみなさんが作る未来」

講 師：河野裕司 (福岡県情報サービス産業協会 産学連携チーム)

演 題：「地方から変える地域貢献の新たな形：デジタル技術で変わる自治体」

講 師：財前 貴玄 (Gcomホールディングス株式会社)

演 題：「ネットワークセキュリティ概要」

講 師：江口 颯太 (NEC通信システム株式会社)

演 題：「自動運転技術について」

講 師：高見 誠（NEC 通信システム株式会社）

演 題：「車載ソフトウェア開発の紹介および自動車業界の動向について」

講 師：坂口俊文（アイシン・ソフトウェア）

1.2.3.2 教育改善活動

令和6年度は授業改善検討会議（学科会議）において、以下のような項目について検討・改善を行った。

- (1) 副担任（4月3日、4月10日、5月15日、6月5日、7月24日、8月7日）

副担任の割当、電子情報基礎演習におけるグループ分けを副担任単位にし学生と副担任の結びつきを強くすること、研究室配属前の学生については副担任がエントリーシートや履歴書の書き方の相談に応じること、副担任を通して卒業時アンケートの回収率向上を図ることが議論された。

- (2) ピアサポート（4月25日、5月22日、6月5日、6月19日、8月7日、9月4日、9月11日）

令和5年度に立ちあがったピアサポート制度の活動を強化すべく、その活動の周知、承認、予算割当が議論された。具体的には、科目別の勉強会、福岡未来創造プラットフォームを利用した他大学との交流事業に関する活動が議論された。

- (3) カリキュラム改正（5月15日、5月29日、7月3日、7月17日、8月7日）

科目の必修／選択の変更が議論された。電子通信コースは4年次に科目登録がなくとも卒業できる履修計画が立てられていたが、4年次にも科目の履修が必要となるよう、選択科目の履修に関する規定を改正した。半導体教育プログラムと関連し、台湾の大学との連携による卒業研究の実施に関する議論を行った。

- (4) スタートセミナー（8月7日、10月16日、2月19日）

スタートセミナーの一環として実施していたフォロー研修の廃止について議論した。

- (5) 電子情報基礎演習（10月23日、11月13日）

1年生対象の電子情報工学特論と2年生対象の電子情報基礎演習の縦割り連携強化を議論し、令和7年度から両科目の縦割り実施回を2コマ設けることとした。

- (6) 3つのポリシー、アセスメントプラン（4月10日、7月24日）

3つのポリシーの確認シート、アセスメントプランのチェックリストを作成し、レビューした。

- (7) 拡大会議（4月3日、9月11日）

実験等に携わる助教の意見を学科の施策に反映できるよう、助教も参加する拡大会議を実施した。

- (8) プレ卒配属（6月5日、8月1日）

例年通りのプロセスによる実施を確認した。説明会は8月1日に開催された。

(9) コース分け・転コース説明会（1月27日）

説明会は1月27日に実施された。

1.2.3.3 学外研修等への参加状況報告

令和6年度大学電気系教員協議会

主催： 大学電気系教員協議会

開催日： 令和6年8月22日

場所： 法政大学市ヶ谷キャンパス

参加者： 鈴木孝将

なお、これまで電気系教員協議会、理工系情報学科・専攻協議会情報教員協議会に参加してきたが、令和6年度を最後にこれら両協議会を退会することとした。

1.2.3.4 活動全般の成果および点検・評価

令和6年度は、令和5年度から始まった副担任制度、ピアサポート制度の深化を図った。令和5年度から始めた副担任による全学生との半期に一度の面談は、特に研究室に配属される前の学生の現状や課題、要望を把握し、また学生と教員との間の意思疎通を深めるうえで効果的であったり、あるいは学科の重要事項やカリキュラムの教育到達目標を周知する絶好の機会として認識されるようになった。その結果、JABEEの教育到達目標の周知と達成の確認、就職に関する指導等を副担任でワンストップで実施する改善を進めている。研究室配属前の学生は、相談事があればまずは副担任に相談するような流れができ、研究室配属までは副担任が変わらず面談の記録も残り文脈も共有されていることから、効率的、効果的な学生指導が可能となっている。

学生間の縦のつながりを強化するピアサポート制度も軌道に乗りつつあり、「プログラミング」や「電気回路」など科目ごとの勉強会が立ちあがるなど、学生が主体的に活動する体制となってきていることは当初の予想を超える成果である。

1.2.4 化学システム工学科

1.2.4.1 教育活動

令和6年度は、通常教育活動に加えて、専門科目履修に向けた新入生の基礎学力確保、キャリア教育の充実などを目的として、以下に示す活動を実施した。

(1) リメディアル数学、数学演習クラス（1年生対象）

令和6年4月24日～7月10日 毎週水曜5限： 4月17日5限に「高校数学の学力到達度調査」を実施し、学力別に3クラスに分けた。第1～11回には授業を、第12回には期末試験を実施した。

(2) リメディアル物理（1年生対象）

令和6年4月17日～7月17日 毎週水曜2限： 第1回に「高校物理の学力到達度調

査」を実施し、受講対象者を選抜した。第2～14回では授業を実施した。

令和6年7月9日 2限：1年生全員を対象として、「化学工学と社会」において到達度確認試験を実施した。

(3) 新入生スタートアップセミナー（1年生対象）

日時：令和6年4月8日

場所：811 教室

内容：新入生の不安軽減およびチームビルディングに関するセミナーを開催

(4) 化学工場見学（3年生希望者対象）

日時：令和6年9月6日

場所：UBE 株式会社 宇部事業所

内容：UBE 株式会社の展示コーナーおよび各種化学プラントの見学

(5) 進路説明会（3年生対象）

日時：令和6年10月15日（「化学工学実験Ⅱ」において実施）

場所：641 教室

内容：就職活動に対する心構え、大学院進学の説明、研究室仮配属の説明、研究室質疑応答

(6) 先輩と語る（3年生対象）

日時：令和6年11月15日（「化学工学実験Ⅱ」において実施）

場所：644 教室

内容：（第一部）大学院生と化学システム工学科OBの講演

講演1：中興化成工業株式会社 奥園 隆司 氏（2018年度博士前期課程修了）

講演2：化学システム工学科4年 三宅 杏奈 氏

講演3：化学システム工学専攻博士前期課程2年 古野 岳 氏

学科就職担当者からの連絡

（第二部）各研究室の4年生・大学院生との懇談会

1.2.4.2 教育改善活動

令和6年度は、教育改善活動として、以下に示す活動を実施した。

(1) 教育改善会議

日時：令和6年7月10日

場所：TK 会議室

内容：令和5年度授業評価アンケートの集計結果を基に作成された授業改善シートに基づく講義概況の報告（各科目担当の先生方）、および科目毎に問題点の抽出、来年度以降の授業改善方法に関する意見交換（PDCAサイクルの点検・改善）

(2) JABEEプログラム外部評価会議およびJABEEプログラム勉強会（学科教職員対象）

日時：令和7年3月17日

場所：644 教室

内容：本学科 JABEE プログラムおよびカリキュラムの説明

外部講師による講演

講師 安武 昭典 氏（安武技術士総合事務所）

演題 大学と企業と技術士

質疑応答

1.2.4.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.4.4 活動全般の成果および点検・評価

リメディアル科目は、専門科目履修に向けた新入生の基礎学力確保を目的として、例年実施している。令和6年度も原則前年度と同様の内容にて実施した。新入生スタートアップセミナーを実施し、学生同士の交流の場を提供した。

キャリア教育の充実を図るための3年生対象の説明会および教職員を対象とした教育改善活動の多くを、対面で1つの教室にて実施した。3年生対象の説明会では、OBや大学院生の就職活動に係る体験談を聴講し、学生はキャリアデザインの重要性を深く認識したようである。教職員は、JABEEプログラム勉強会における講演とその後のディスカッションを通じて、将来の教育方法やPDCAを「持続的・継続的」に回すことの重要性に関して再認識した。

1.2.5 社会デザイン工学科

1.2.5.1 教育活動

(1) 「社会デザイン工学科チーム力養成ゼミ」の実施（4年生対象）

チームワーク力の育成のために4年生全員を対象としてチーム力養成講座を実施した。学部講義で得た知識、技術、技能や所属研究室の学術分野の知識を融合し、社会デザイン工学的解決策をチームで導き出す。そのために必要なコミュニケーション研修を目的とし、1) コミュニケーションが必要な時代背景を知る、2) チームとチームワークの考え方を知る、3) 相手を認めることを学ぶ、4) 表現のコツを知るといった講義内容を踏まえ、演習を含めた実践的講義を実施した。またフォローアップとして令和6年5月27日（月）の学科会議にて、本講座の振り返りを行い情報の全体共有を図った。

・実施スケジュール

令和6年4月8日 第1回目 概要説明、講義 @521 教室

令和6年4月26日 第2回目 演習を含めた実践的講義 @中央図書館多目的ホール

(2) インターンシップの実施（3年生対象）

3 年次開講科目「キャリアデザイン」(必修科目)の一環として、インターンシップの参加を単位取得の必須条件としていたが、令和3年度からは参加推奨に切り替えた。本年度も大半の学生が、5日間以上のインターンシップに参加し、その後インターンシップ報告会を実施した。なお、学科とは別枠で学生個人が実習先に応募(自由応募)して、複数のインターンシップに参加する学生も増えている。

・インターンシップ報告会

日 時：令和6年9月13日(金) 13:00～16:00

場 所：521 教室

内 容：インターンシップでの体験や実施内容に関する資料を作成し、教員や他の学生に説明を行う報告会を実施。

(3) 現場見学会(1年生対象)

日 時：令和6年5月18日

場 所：佐賀県諸富町 有明海沿岸道路工事現場

内 容：国土交通省九州地方整備局および川田工業(株)のご協力により、川副1号橋上部工事を見学した。あわせて、すぐ近くにある「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」も見学した。

(4) TC 学習サポートデスク

日 時：第2, 4火曜日 12:20～12:50(学期中)

場 所：511 教室

内 容：授業がわからない、困っている学生を対象に教員、大学院、学部生サポーターによる学習サポートを実施。

(5) 副担任個人面談

日 時：令和6年4月下旬～5月中旬

場 所：副担任研究室

内 容：全学年全員を対象に副担任による個人面談を実施した。

(6) 就職企業説明会

日 時：令和7年2月13日、14日、17日、18日 10:00～15:00

場 所：福岡大学文系センター棟15階 第5、6、7会議室

内 容：土木系の就職先である建設業・コンサルタント・公益企業・官庁など、261団体が参加し、多くの情報と実際の現場の声が聞くことのできる企業説明会を開催した。

(7) 新入生懇談会

日 時：令和6年5月18日

場 所：佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館

内 容：1年生対象の現場見学会の中で、「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」において入学後1ヶ月あまりの1年生全員によりクイズ大会等のレクリエーションを行った。

1.2.5.2 教育改善活動

(1) シラバス読み合わせの実施（令和7年1月14日（火）～20日（月））

令和7年度のシラバスについて、到達目標、授業計画のチェックを目的とした学科教員全員による読み合わせを行った。FU_box に各科目のシラバスを保存し、確認担当者を決めて期限（1月20日（月））までにチェックシートに記載する形で実施した。読み合わせ後、各講義担当者によるチェックシートに記載の指摘事項等の確認と修正等を実施し、各科目のシラバスを確定した。

(2) JABEE 外部評価委員会

日 時：令和6年7月14 17:30～18:30

場 所：オンライン

参加者：外部評価委員6名、学科教員

内 容：指摘事項及び継続的改善について
教育改善の取り組みについて
卒業生アンケートの結果

1.2.5.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.5.4 活動全般の成果および点検・評価

教育活動として「チームカゼミ」「現場見学会」「インターシップ」を継続して実施している。これらの関連活動は、学科会議で振り返りや改善点について話し合いながら、継続的に点検・評価を行っている。令和5年度からは講義が難しいと感じている学生の自主参加による「TC 学習サポートデスク」を新たに設けており、例年20名程度の学生が参加している。今後は学生の成績や学習状況を振り返りながら成果について点検・評価を行っていく。

教育改善活動では、専門科目のシラバスを最低3名の担当外教員が相互にチェックを行いながら、継続的に改善を行っている。また、JABEE 外部評価委員会では、学科の活動全般に対する外部からの指摘や評価を通じて、学科の JABEE 会議にて改善について議論している。

1.2.6 建築学科

1.2.6.1 教育活動

(1) 新入生履修ガイダンス、新入生指導懇談会および新入生研修旅行

令和6年4月2日（火）に新入生履修ガイダンスを、4月9日（火）に新入生指導懇談会を行った。また、新入生間の親睦・教員との交流と、身近な建築物の見学を通して、建築への興味を深め、建築を観る目を養うことを目的に、新入生フィールド研修を5月11日（土）に行った。

(2) SPI 模擬テストおよびコンピテンシー診断テスト

1年生を対象に、SPIの模擬試験（令和6年7月12日（金）実施）およびコンピテンシー診断テスト（令和6年4月16日（火）実施、5月14日（火）にフォローアップを実施）を行った。

(3) アドバイザー訪問

実施日：1年生：4月10日～19日、9月24日～10月8日、3月14日～3月28日

2・3・4年生：9月24日～10月8日、3月14日～3月28日

実施内容：アドバイザー担当教員（副担任）が個別面談を対面もしくはオンラインで実施した。

(4) 建築学科キャリアセミナーの実施

就職活動を始める3年生を対象に、令和6年9月25日（水）、10月2日（水）、9日（水）の3日間に、建築関係の企業（計30社）から事前に提供いただいた動画上映によるキャリアセミナーを実施した。続いて、10月16日（水）、23日（水）、30日（水）、11月6日（水）、13日（水）の5日間の期間で企業採用担当者との対面によるキャリアセミナーを実施した。対面のキャリアセミナーでは、各企業（計56社）のブースを設けて個別相談や質疑応答を行った。

1.2.6.2 教育改善活動

(1) 修学指導

成績がふるわない学生（2～4年生）を対象に6月～7月の間で修学指導を行った。

(2) 推薦合格者の入学前教育の実施

入学前教育として推薦合格者に課題を課し、提出された課題内容を教員でチェックした。

(3) 福岡大学建築展

福岡大学建築展2025（第18回）

開催日：令和7年2月14日（金）～2月16日（日）

会場：アクロス福岡1階アトリウム

内容：設計展示として、卒業計画の優秀作品（七隈建築賞・福岡県建築士会賞、彗揚

会賞、優秀賞、佳作等)、3年生の設計課題を展示した。また、論文展示として、日本コンクリート工学会九州支部長賞、空気調和・衛生工学会振興賞学生賞、都市住宅学会九州支部優秀学生賞等受賞論文を含む、各研究室で選出された論文を展示した。一般来場者数は3日間でのべ3,413人にのぼった。

(4) 設計計画系ミーティングおよび講義研究会

開催日：令和6年8月5日(月)・9月9日(月)・10月9日(水)・11月27日(水)・令和7年1月9日(木)・2月17日(月)・3月19日(水)の計7回開催

(5) 構造系講義検討WGおよび構造系講義研究会

開催日：令和7年3月13日(木)の計1回開催

構造力学系の共担科目については、毎回の授業前に教員間で打合せを実施

(6) 外部評価会議

1) 卒業計画優秀作品選考会の実施

日時：令和7年1月25日(土) 13:00~17:50

場所：5号館4階541教室

参加者：外部評価委員(6名) 赤川 貴雄(ADC 一級建築士事務所 本学非常勤講師)、今井 宏(清水建設 本学非常勤講師)、大庭 拓也(日建設計)、佐藤 信(青木茂建築工房 本学非常勤講師)、高木 正三郎(設計+製作/建築巧房 本学非常勤講師)、古森弘一(古森弘一建築設計事務所)、本学教員(池添 昌幸、太記 祐一、趙 翔、宮崎 慎也、四ヶ所 高志、野口 雄太、野田 りさ、松永 一郎)、学部4年生、大学院生

内容：建築学科の開講科目「卒業計画」(4年生通年必修)の優秀作品選考会の審査員として、6名の外部評価委員を招聘した。「卒業計画」では、学生が研究室に所属して行った研究成果を論文か設計作品にまとめ発表し、その設計作品の中から学内の教員が高く評価した12作品について、学生のプレゼンテーション、図面、模型、などを、それぞれ検討・評価をして頂いた。そして学内の教員も交え、12作品全体について意見交換を行い、特に優秀な作品の選考を行った。一連の作業を通して、実際に建築設計の実務に携わっている現役の専門家から、様々な意見を聴取することができ、「卒業計画」の教育効果を検証する手がかりを得るとともに、学部における設計教育全体の方針を再検討するための重要な知見を得ることができた。

1.2.6.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.6.4 活動全般の成果および点検・評価

令和6年度も、教室会議と学科内教務委員会において、講義・演習や卒業計画等の授業科

目、修学指導の関連行事について継続的に検討し、教育改善を継続的に実行している。

専門科目のシラバスは、分野の近い教員が分担して相互にチェックし、その後、学科主任が全体調整を行い、改善すべき点があれば指摘するなど、相互点検と改善を行っている。また、キャリアデザイン教育の充実を図るために3年次生を対象として「キャリアセミナー」を実施するなど、継続的に点検・評価を行っている。

上記の活動項目のほかにも、福岡工業高校等の高校教育への貢献、イヤーズブック（建築学科の活動を記録した冊子）を用いた教育成果の情報発信などを実施し、教育改善の成果を上げている。

2.1 入試状況

推薦、秋季、春季入学試験の過去5年間における各専攻の受験者数と合格者数を示す。

課程・専攻	入学年度 (実施年度)	推薦		秋季		春季		合計				
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数			
博士課程前期	機械工学	2025 (R6)	8	8	10	7	4	4	22	19		
		2024 (R5)	7	7	7	7	3	2	17	16		
		2023 (R4)	8	8	6	4	3	3	17	15		
		2022 (R3)	7	7	5	5	0	-	12	12		
		2021 (R2)	10	10	6	3	4	2	20	15		
	電気工学	2025 (R6)	1	1	1	0	1	1	3	2		
		2024 (R5)	6	6	1	0	0	0	7	6		
		2023 (R4)	4	4	1	1	2	2	7	7		
		2022 (R3)	10	10	3	2	2	1	15	13		
		2021 (R2)	8	8	6	5	3	2	17	15		
	電子情報工学	2025 (R6)	9	9	9	9	7	4	25	22		
		2024 (R5)	4	4	8	7	4	3	16	14		
		2023 (R4)	7	7	5	4	5	4	17	15		
		2022 (R3)	4	4	11	10	2	1	17	15		
		2021 (R2)	5	5	8	7	3	1	16	13		
	化学システム工学	2025 (R6)	12	12	8	7	2	2	22	21		
		2024 (R5)	21	21	17	14	2	2	40	37		
		2023 (R4)	17	17	26	24	4	3	47	44		
		2022 (R3)	12	12	2	2	0	-	14	14		
		2021 (R2)	17	17	4	3	3	3	24	23		
建設工学	2025 (R6)	8	8	14	12	1	1	23	21			
	2024 (R5)	7	7	22	19	2	2	31	28			
	2023 (R4)	10	10	16	14	5	4	31	28			
	2022 (R3)	3	3	9	8	4	3	16	14			
	2021 (R2)	5	5	12	12	2	1	19	18			
修士課程	資源循環・ 環境工学	2025 (R6)	0	-	1	1	3	2	4	3		
		2024 (R5)	0	-	1	1	2	2	3	3		
		2023 (R4)	0	-	0	-	2	2	2	2		
		2022 (R3)	0	-	3	1	3	3	6	4		
		2021 (R2)	1	1	1	1	3	2	5	4		
博士課程後期	エネルギー・ 環境システム工学	2025 (R6)	/		0	-	1	1	1	1		
		2024 (R5)			0	-	1	1	1	1		
		2023 (R4)			3	3	3	3	6	6		
		2022 (R3)			1	1	1	1	2	2		
		2021 (R2)			1	1	2	2	3	3		
	情報・制御 システム工学	2025 (R6)			/		0	-	0	-	0	0
		2024 (R5)					0	-	0	-	0	0
		2023 (R4)					0	-	0	-	0	0
		2022 (R3)					1	1	1	1	2	2
		2021 (R2)					1	1	0	-	1	1

2.2 学生在籍状況

令和6年度 工学研究科在籍者数一覧

(令和6年5月1日現在)

課程		博士課程前期(修士課程)			博士課程後期				合計	
専攻	年次	学年 (入学年)	1年 (2024)	2年 (2023)	3年以上 (2022以前)	1年 (2023)	2年 (2022)	3年 (2021)		4年以上 (2020以前)
機 械 工 学	女子		(1)	(2)	(0)					(3)
	休学 在籍		16	15	0					0 31
電 気 工 学	女子		(0)	(0)	(0)					(0)
	休学 在籍		5	7	0					0 12
電 子 情 報 工 学	女子		(3)	(3)	(0)					(6)
	休学 在籍		13	15	0					0 28
化 学 シ ス テ ム 工 学	女子		(12)	(6)	(0)					(18)
	休学 在籍		36	41						0 77
建 設 工 学	女子		(8)	(5)	(0)					(13)
	休学 在籍		26	24	0					0 50
資 源 循 環 ・ 環 境 工 学	女子		(1)	(0)	(0)					(1)
	休学 在籍		3	2	0					0 5
博士課程前期・修士課程 合 計	女子		(25)	(16)	(0)					(41)
	休学 在籍		99	104	0					0 203
エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 シ ス テ ム 工 学	女子					(0)	(1)	(0)	(0)	(1)
	休学 在籍					1	6	1	1	0 9
情 報 ・ 制 御 シ ス テ ム 工 学	女子					(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	休学 在籍					0	0	2	0	0 2
博 士 課 程 後 期 計	女子					(0)	(1)	(0)	(0)	(1)
	休学 在籍					0 1	0 6	0 3	0 1	0 11

令和6年度 工学研究科外国人留学生、社会人学生、研究生等在籍者数

(令和6年5月1日現在)

分類	課程・専攻	博士課程前期・修士課程					博士課程後期			工学研究科 合計
		機 械 工 学	電 気 工 学	電 子 情 報 工 学	化 学 シ ス テ ム 工 学	建 設 工 学	環 境 資 源 循 環 工 学	エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 シ ス テ ム 工 学	シ ン テ ー ズ ・ 情 報 シ ス テ ム 工 学 制 御	
	外国人留学生			2	1	2		1	1	7
	外国人特別留学生									0
	社会人学生						2	7	1	10
	研究生									0
	科目等履修生									0

2.3 学年暦

令和6年度 工学研究科学年暦・行事暦

年月日			事項	
6	4	1月	入学式/学年開始・前期開始	
			新入生ガイダンス・学習指導	
			新入生履修登録開始 (～3日12:00迄)	
		3日	水	TA申込締切
		11日	木	前期授業開始
	6	17日	月	推薦入学願書受付開始 (～19日迄)
	7	6日	土	推薦入学試験(工学研究科)
		16日	火	個別の入学資格審査対象者・外国人(国内志願者)の入学願書受付開始(～18日迄)
		23日	火	推薦入学合格発表
		30日	火	前期授業終了
	8	4日	日	夏季休業開始
		22日	木	秋季入学試験願書受付開始 (～26日迄)
	9	2月	月	9月入学者新入生ガイダンス・学習指導
				9月入学者履修登録開始 (～4日12:00迄)
		4日	水	9月入学者TA申込締切
9日		月	秋季入学試験(工学研究科)	
13日		金	秋季修士・博士学位合格者発表	
			Web成績発表 (前期完結科目のみ)	
			夏季休業終了	
14日		木	後期開始・後期授業開始 /令和6年9月入学者入学	
28日		土	前期卒業式・学位記授与式 (修士)	
30日	月	秋季入学試験合格発表		

年月日			事項	
6	10	3日	木	秋季大学院学位記授与式 (博士)
		31日	木	外国人留学生(国外志願者)入学願書締切
	12	6日	金	工学研究科大学院進学説明会 (3年次生対象)
		9日	月	個別の入学資格審査対象者・外国人(国内志願者)の入学願書受付開始(～11日迄)
		27日	金	冬季休業開始
		4日	土	冬季休業終了
1	6日	月	後期授業再開	
	20日	月	春季入学試験願書受付開始 (～23日迄)	
			後期授業終了	
	27日	月	大学院研究生出願受付開始 (～31日迄)	
2	10日	木	飛び級願書受付開始(～12日迄)	
	17日	月	春季入学試験(工学研究科)	
7	10月	月	春季修士・博士学位合格者発表	
			修士論文製本原稿提出受付開始 (～12日迄)	
			Web成績発表	
	19日	水	春季入学試験合格発表	
			卒業式・学位記授与式(修士)	
			春季大学院学位記授与式 (博士)	
27日	木	在学生履修登録書類配付・履修登録開始(～31日迄)		
31日	月	学年終了		

2.4 専門科目一覧

【機械工学専攻 博士課程前期】令和6年度入学生（24名）

主要科目			特修科目			
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数	
材料力学専修	材料力学特別研究	8	非 専 修	破壊力学	2	
	材料力学特論Ⅰ	2		応用数学特論Ⅰ	2	
	材料力学特論Ⅱ	2		応用数学特論Ⅱ	2	
流体工学専修	流体工学特別研究	8		応用物理学特論Ⅰ	2	
	流体力学特論	2		応用物理学特論Ⅱ	2	
	流体機械特論	2		解析力学	2	
熱工学専修	熱工学特別研究	8		応用力学特別講義	2	
	熱工学特論	2		エネルギー工学特別講義	2	
	熱機関特論	2		設計工学特別講義	2	
機械設計・工 作法専修	機械設計・工作法特別研究	8				
	機械設計特論	2				
	工作法特論	2				
機械力学・制 御専修	機械力学・制御特別研究	8				
	機械力学特論	2				
	機械制御特論	2				

【電気工学専攻 博士課程前期】令和6年度入学生（24名）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
電気基礎専修	電気基礎特別研究	6	非 専 修	応用数学特論	2
	電気基礎特別実験	4		応用物理学特論	2
	電気基礎特論Ⅰ	4		電磁解析特論	2
	電気基礎特論Ⅱ	4		電気回路特論	2
パワーエレクトロニクス専修	パワーエレクトロニクス特別研究	6		放電プラズマ特論	2
	パワーエレクトロニクス特別実験	4		電気絶縁特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅰ	4		自動制御特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅱ	4		環境電気特論	2
電力工学専修	電力工学特別研究	6		パルス・デジタル応用特論	2
	電力工学特別実験	4		電気機器応用特論	2
	電力工学特論Ⅰ	4		信号解析特論	2
	電力工学特論Ⅱ	4		電気エネルギーシステム特論Ⅰ	2
応用電気工学専修	応用電気工学特別研究	6	電気エネルギーシステム特論Ⅱ	2	
	応用電気工学特別実験	4			
	応用電気工学特論Ⅰ	4			
	応用電気工学特論Ⅱ	4			

【電子情報工学専攻 博士課程前期】令和6年度入学生（24台）

主要科目			共通科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
集積回路専修	集積回路特別研究Ⅰ	4	応用数学特論Ⅰ	2
	集積回路特別研究Ⅱ	6	応用数学特論Ⅱ	2
	半導体工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅰ	2
	集積回路工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅱ	2
	電子回路設計特論	2	技術マネジメント特論	2
	固体電子回路特論	2	システム開発特別演習	2
	応用物理学特論	2	ITプロジェクト管理特論	2
通信システム専修	通信システム特別研究Ⅰ	4	システム開発特別実習	2
	通信システム特別研究Ⅱ	6	プロジェクト型開発特別演習・実習	4
	移動通信システム特論	2		
	通信工学特論	2		
オプトエレクトロニクス専修	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅰ	4		
	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅱ	6		
	光エレクトロニクス特論Ⅰ	2		
	光エレクトロニクス特論Ⅱ	2		
計算機システム専修	計算機システム特別研究Ⅰ	4		
	計算機システム特別研究Ⅱ	6		
	計算機工学特論Ⅰ	2		
	計算機工学特論Ⅱ	2		
情報アーキテクチャ専修	情報アーキテクチャ特別研究Ⅰ	4		
	情報アーキテクチャ特別研究Ⅱ	6		
	ネットワークシステム特論	2		
	ロボティクス特論Ⅰ	2		
	ロボティクス特論Ⅱ	2		
知能工学専修	知能工学特別研究Ⅰ	4		
	知能工学特別研究Ⅱ	6		
	言語工学特論	2		
	情報論理学特論	2		
情報システム開発工学専修	情報システム開発工学特別研究Ⅰ	4		
	情報システム開発工学特別研究Ⅱ	6		
	システム・ソフトウェア工学特論	2		
	情報ネットワーク特論	2		
	情報セキュリティ特論	2		
メディア工学専修	メディア工学特別研究Ⅰ	4		
	メディア工学特別研究Ⅱ	6		
	音声情報処理特論	2		
	画像情報処理特論	2		

【化学システム工学専攻 博士課程前期】令和6年度入学生（24名）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
プロセスシステム工学専修	プロセスシステム工学特別研究	6	非 専 修	化学プロセス特論	2
	プロセスシステム工学特別実験	4		プロセス設計特論	2
	プロセスシステム工学特論	4		プロセス制御特論	2
複合材料専修	複合材料特別研究	6		バイオマス変換工学特論	2
	複合材料特別実験	4		エネルギー物質化学特論	2
	複合材料特論	4		高分子化学特論	2
界面プロセス工学専修	界面プロセス工学特別研究	6		輸送現象特論	2
	界面プロセス工学特別実験	4		界面プロセス工学特論	2
	物質移動工学特論	4		無機機能材料特論	2
移動現象工学専修	移動現象工学特別研究	6		触媒工学特論	2
	移動現象工学特別実験	4		流体工学特論	2
	移動現象工学特論	4		伝熱工学特論	2
応用触媒化学専修	応用触媒化学特別研究	6		環境工学特論	2
	応用触媒化学特別実験	4		環境物理学特論	2
	応用触媒化学特論	4		応用数学特論Ⅰ	2
化工流体工学専修	化工流体工学特別研究	6		応用数学特論Ⅱ	2
	化工流体工学特別実験	4		応用物理学特論Ⅰ	2
	化工流体工学特論	4		応用物理学特論Ⅱ	2
反応工学専修	反応工学特別研究	6		化学工学特論Ⅰ	1
	反応工学特別実験	4		化学工学特論Ⅱ	1
	反応工学特論	4		化学工学特論Ⅲ	1
化学安全工学専修	化学安全工学特別研究	6		化学工学特論Ⅳ	1
	化学安全工学特別実験	4		英語論作文スキル特論Ⅰ	2
	化学安全工学特論	4		英語論作文スキル特論Ⅱ	2
工業化学・高分子専修	工業化学・高分子特別研究	6			
	工業化学・高分子特別実験	4			
	工業化学・高分子特論	4			
工業無機化学専修	工業無機化学特別研究	6			
	工業無機化学特別実験	4			
	工業無機化学特論	4			

【建設工学専攻 博士課程前期】令和6年度入学生（24名）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
建築学専修	建築学特別研究	6	非 専 修	弾塑性構造力学特論	2
	建築学特別実験・実習	4		合成構造耐震設計特論	2
社会デザイン 工学専修	社会デザイン工学特別研究	6		木質材料構造学特論	2
				社会デザイン工学特別実験・実習	4
	マトリックス構造解析特論	2			
	材料力学史特論	2			
	鋼構造弾塑性学特論	2			
	鋼構造座屈特論	2			
	地震工学特論	2			
	応答制御構造特論	2			
	建築構造デザイン特論	2			
	構造計画特論	2			
コンクリートの材料科学特論	2				
コンクリート工学特論	2				
建設材料の耐久性特論	2				
複合建設材料工学特論	2				
流体シミュレーション特論	2				
環境水理学特論	2				
浄化機能特論	2				
応用生態工学特論	2				
地域・住宅地計画特論	2				
都市計画・まちづくり特論	2				
都市デザイン特論	2				
交通計画特論	2				
地域計画・設計特論	2				
景観学特論	2				
建築熱環境計画特論	2				
建築空気環境計画特論	2				
建築光環境工学特論	2				
建築音環境工学特論	2				
道路舗装工学特論	2				
地盤環境工学特論	2				
地盤防災工学特論	2				
地盤シミュレーション工学特論	2				
建築意匠特論Ⅰ	2				
建築意匠特論Ⅱ	2				
都市史特論	2				
建築史特論	2				
建築設計計画特論	2				
空間計画学特論	2				
建築構造設計学特論	2				
地球環境建築生産特論	2				
建築デザイン演習Ⅰ	4				
建築デザイン演習Ⅱ	4				
建設設計実習Ⅰ	2				
建設設計実習Ⅱ	2				
建設設計実習Ⅲ	2				
建設設計実習Ⅳ	2				

【資源循環・環境工学専攻 修士課程】令和6年度入学生（24名）

主要科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
資源循環工学専修	資源循環工学特別研究	8	耐久性制御工学特論	2
	資源循環工学特別実験・実習	4	材料特性特論	2
環境化学制御専修	環境化学制御特別研究	8	資源循環型経済システム特論	2
	環境化学制御特別実験・実習	4	廃棄物管理システム特論	2
環境生態制御専修	環境生態制御特別研究	8	グリーン物流計画特論	2
	環境生態制御特別実験・実習	4	汚染物質処理特論	2
地域環境専修	地域環境特別研究	8	環境化学装置特論	2
	地域環境特別実験・実習	4	環境化学特論	2
環境マネジメント専修	環境マネジメント特別研究	8	水質管理システム特論	2
	環境マネジメント特別実習	4	エネルギー変換工学特論	2
東アジア文化環境専修	東アジア文化環境特別研究	8	廃棄物資源循環工学特論	2
	東アジア文化環境特別実習	4	環境微生物工学特論	2
共通必修科目			水圏生態学特論	2
授業科目		単位数	土壌生態学特論	2
資源循環総合演習		6	環境アセスメント特論	2
実践的環境教育総合実習Ⅰ		2	環境調和型都市計画特論	2
共通選択科目			国際環境計画特論	2
授業科目		単位数	環境法特論	2
実践的環境教育総合実習Ⅱ		2	環境情報学特論	2
			コミュニケーションスキル特論	2
			環境データ解析特論	2
			環境行政学特論	2
			環境物理学特論	2
			中国文化環境特論	2
			韓国朝鮮文化環境特論	2
			環境監査特論Ⅰ	2
			環境監査特論Ⅱ	2
			英語論作文スキル特論Ⅰ	2
			英語論作文スキル特論Ⅱ	2

【エネルギー・環境システム工学専攻 博士課程後期】令和6年度入学生（24台）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
熱エネルギー工学専修	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	応用エネルギー特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	熱エネルギー移動現象特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	電力システム工学特論A	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	電力システム工学特論B	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	誘電体物性工学特論	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	都市排水処理工学特論	2
電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	再生資源利用工学特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	建築環境システム特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	都市計画特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	免震・制震設計特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	地盤防災学特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	建築計画特論	2
都市環境工学専修	都市環境工学特別研究Ⅰ	2	舗装・地盤環境工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅱ	2	構造工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅲ	2	橋梁工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅳ	2	交通・都市システム特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅰ	2	建築生産工学特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅱ	2	耐震工学特論	2
環境材料工学専修	環境材料工学特別研究Ⅰ	2	景観デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅱ	2	住環境デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅲ	2	材料強度学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅳ	2	生体材料学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅰ	2	構造材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅱ	2	高分子材料工学特論	2
環境プロセス工学専修	環境プロセス工学特別研究Ⅰ	2	材料強度解析特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅱ	2	機械材料学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅲ	2	界面コロイド工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅳ	2	環境装置工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅰ	2	環境分離工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅱ	2	環境適合化学プロセス特論	2
資源循環システム工学専修	資源循環システム工学特別研究Ⅰ	2	生物材料工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅱ	2	環境安全工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅲ	2	環境工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅳ	2	環境触媒特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅰ	2	廃棄物処理工学特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅱ	2	廃棄物処分システム特論	2
部門共通	インターンシップ	2	建設廃棄物処理特論	2

【情報・制御システム工学専攻 博士課程後期】令和6年度入学生（24名）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
情報処理工学 専修	情報処理工学特別研究Ⅰ	2	言語工学特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅱ	2	言語工学特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅲ	2	知能処理特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅳ	2	知能処理特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅴ	2	知能処理特論C	2
	情報処理工学特別研究Ⅵ	2	情報処理工学特論A	2
情報伝送工学 専修	情報伝送工学特別研究Ⅰ	2	情報処理工学特論B	2
	情報伝送工学特別研究Ⅱ	2	情報処理工学特論C	2
	情報伝送工学特別研究Ⅲ	2	情報処理工学特論D	2
	情報伝送工学特別研究Ⅳ	2	伝送素子特論	2
	情報伝送工学特別研究Ⅴ	2	情報伝送工学特論A	2
	情報伝送工学特別研究Ⅵ	2	情報伝送工学特論B	2
システム制御 工学専修	システム制御工学特別研究Ⅰ	2	情報伝送工学特論C	2
	システム制御工学特別研究Ⅱ	2	情報伝送工学特論D	2
	システム制御工学特別研究Ⅲ	2	パワーエレクトロニクス特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅳ	2	パワーエレクトロニクス特論B	2
	システム制御工学特別研究Ⅴ	2	機械システム制御特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅵ	2	機械システム制御特論B	2
機能デバイス 工学専修	機能デバイス工学特別研究Ⅰ	2	機械システム制御特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅱ	2	機能デバイス工学特論A	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅲ	2	機能デバイス工学特論B	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅳ	2	機能デバイス工学特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅴ	2	機能デバイス工学特論D	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅵ	2	デバイス材料工学特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

【博士課程後期における学際プログラム】令和6年度入学生（24名）

部門	研究指導科目		特修科目	
	授業科目	単位数	授業科目	単位数
アグリシステム工学プログラム	バイオマス利用工学特別研究Ⅰ	2	発酵工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅱ	2	環境プロセス工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅲ	2	バイオマテリアル特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅳ	2	アグリプロセス特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅰ	2	スマートアグリ特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅱ	2	アグリビジネス特論	2
	アグリプロセス工学特別研究Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅱ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅲ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅳ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅲ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅳ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅱ	2		
都市建設工学プログラム	建築耐震工学特別研究Ⅰ	2	建築耐震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅱ	2	道路地盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅲ	2	建築免震・制震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅳ	2	都市基盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅰ	2	都市交通政策特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅱ	2	都市環境情報システム特論	2
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅱ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅲ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅳ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅲ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅳ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅰ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅲ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅳ	2		
維持管理システム工学特別演習Ⅰ	2			
維持管理システム工学特別演習Ⅱ	2			
共通科目				
授業科目				単位数
インターンシップ				2
公共政策学特論				2
経済マネジメント特論				2
防災通信特論				2

2.5 修士論文と博士論文、学生が受賞した学術賞

2.5.1 修士論文

令和6年度 修士論文論題及び審査委員一覧

専攻	主査	副査	論題
機械工学 (15名)	岩村	安東	PINNを用いたクロスフロー風車の2次元非定常乱流流れ場解析
	遠藤	森山	球状黒鉛鋳鉄の水素吸蔵および水素脆化メカニズムの解明
	岩村	柳瀬	マルチボディダイナミクスと機械学習を用いた自動車乗員モデルの構築と車線変更時の車両運動制御
	岩村	宮田	二関節筋を模したばねを有する垂直多関節型マニピュレータの省エネルギー制御
	遠藤	宮田	2種の循環式連続水素チャージ法を用いたSCM435の水素環境適合性評価
	岩村	山辺	受動ストレージ要素を利用した省エネルギーマニピュレータの関節構成の検討とリンク機構の導入
	高尾	森山	単一矩形ミニチャンネル内を流れる混合冷媒R454BおよびR454Cの凝縮熱伝達特性に与える流動方向の影響
	高尾	安東	三反応簡略化モデルとHyperbolic Tangent 近似を用いた新しい燃焼モデルの開発
	岩村	安東	波力発電用ツインクロスフロー風車の数値解析による流れ場解析
	柳瀬	林	金属材料のS-N曲線の予測とばらつきの原因
	遠藤	林	鋳造アルミニウム合金の疲労破壊メカニズム
	岩村	森山	マルチボディダイナミクスによる電動クライニング車椅子の廃用症候群予防機構の開発
	高尾	林	次世代混合冷媒の液密度・液音速の測定およびPythonを用いた測定の効率化
	岩村	山辺	マルチボディダイナミクスを用いた汎用的な力制御手法の開発とその応用
	電気工学 (7名)	山辺	宮田
篠原		西田	パルスプラズマを用いた触媒フリーでのグラフェンの低温形成
西田		孟	改良型スパッタリング法における形成処理時間がPbTiO ₃ ナノ結晶育成に与える影響
西田		孟	原子平坦ステップテラス表面へのスパッタ粒子の入射条件が超平坦Ptナノシート形成に与える影響
小浜		住吉谷	電力用可変容量コンデンサとその共振形コンバータへの応用に関する研究
根葉		小浜	PWMデュアル電流形インバータ駆動誘導機システムの制御法に関する研究
住吉谷		松岡	LiDARの反射強度に基づく壁面種類の判別手法の開発
孟	西田	電磁散乱波形の機械学習に基づく水溶液モデルの導電率推定に関する基礎研究	

専攻	主査	副査	論題
電子情報工学 (14名)	鶴田	高橋	仮想会議における効果的な議論促進を目的とした参加者行動データログと分析に関する研究
	文仙	鈴木	入射波面制御による散乱媒体透過光のフォーカス形成の高速高精度化に関する研究
	吉村	乙武	DeBERTa言語モデルとアンサンブル学習を用いたうつ度判定に関する研究
	鶴田	高橋	仮想会議のユーザー体験向上のためのアバター衣装の多彩かつ動的なカスタマイズ機能の開発
	小野	鶴田	NeRF技術を活用した実映像自由視点ドライビングシミュレータの実現と視覚特性に応じた高速化
	佐藤(寿)	請園	A Study of Side-Channel Security for Cost-sensitive IoT Devices
	名倉	佐藤	トグル型ピーク電圧検出回路を用いた電源ノイズ監視回路の設計と評価
	中西	小野	歩行型トラクタのスマート化に関する研究
	小野	栗	二輪車を対象とした快適経路推薦のための低視点顔表情に対する感情分析
	佐藤(寿)	名倉	Impact of Approximate ECG Signal Processing on Power Consumption and Arrhythmia Identification
	文仙	鈴木	ホログラフィックメモリにおいて部分コヒーレント再生された複素振幅変調信号光の強度輸送方程式法による検出に関する検討
	佐藤(寿)	名倉	近似加算器を用いた低消費電力JPEG回路に関する研究
	小野	鶴田	4D Gaussian Splatting による博多祇園山笠の動的シーンレンダリング
	鶴田	小野	仮想会議の理解度向上を目的としたVR機能と表現方法の拡張の研究
化学システム工学 (41名)	加藤(貴)	野田	チューブリアクタを用いたジニトラミド酸の連続合成に関する研究
	重松	新戸	発酵促進剤添加によるエタノール発酵における高濃度キシロース阻害の克服
	重松	瀬戸	セルロースナノファイバーの保湿性基剤中での分散凝集性と芳香成分の揮発制御への応用
	加藤(勝)	新戸	抗原検査用ニトロセルロース膜の劣化抑制技術の検討
	鈴川	松隈	PIV法による攪拌翼吐出領域の速度分布計測と吐出および乱流特性評価 ー羽根面積モーメントを統一した攪拌翼の比較ー
	重松	加藤(勝)	イネ系バイオマスの粉じん爆発に対する安全性評価とその危険性の要因
	重松	新戸	バイオエタノール製造における食品廃棄物のタンパク源としての有効利用
	三島	野田	リボソームを用いたフェニルアラニンのナノカプセル化
	重松	瀬戸	精油の香りの嗜好性とバイオディーゼル燃料への添加効果
	加藤(貴)	吉原	多孔質化したリグニン由来炭素電極のCO ₂ 還元特性
	松隈	鈴川	表面調整剤を含む液滴の蒸発挙動
	三島	野田	p-クマル酸の抽出およびカプセル化
	松隈	鈴川	格子ボルツマン法による配管エルボ部での粒子堆積メカニズムの解明
	三島	野田	経口投与剤用のマイクロカプセルの開発
加藤(勝)	新戸	抗原検査用ニトロセルロース膜の劣化挙動	
加藤(勝)	加藤(貴)	自動車エアバッグ用ガス発生剤の燃焼性に及ぼすヒドロタルサイト添加の影響	
加藤(勝)	瀬戸	有機・無機複合微粒子を添加したエポキシ接着剤の解体性評価	

専攻	主査	副査	論題
化学システム工学	三島	新戸	超臨界二酸化炭素を用いたレボフロキサシンのマイクロカプセル化
	松隈	鈴川	多孔板を用いた静止型混合器内の流動
	野田	鈴川	連鎖アラームのオンライン検出と発生抑制手法の開発
	鈴川	松隈	枕型気泡槽における自励振動現象の発生機構解明 ー邪魔板との相互作用ー
	加藤(勝)	久保田	米菓くずの蓄熱発火危険性
	松隈	瀬戸	再生ABSの物性回復における二軸押出機の利用とその効果
	加藤(勝)	重松	ヨウ素オキシ酸塩を含む煙火組成物の危険性および燃焼性
	松隈	瀬戸	熔融樹脂だまり付き二軸押出機を用いたバージンポリプロピレンの高度再生
	三島	新戸	フェルラ酸の抽出とマイクロカプセル化
	三島	瀬戸	水熱反応によるキトサンの低分子化およびマイクロコーティングへの応用
	三島	瀬戸	骨由来のたんぱく質の抽出とカプセル化
	加藤(貴)	加藤(勝)	アンモニウムジニトラミド/モノメチルアミン硝酸塩系イオン液体の電圧印加分解に及ぼす電極材の影響解析
	新戸	重松	細菌と酵母へのナノプラスチックの付着・毒性に及ぼす菌体生育状態と曝露環境の影響
	加藤(貴)	加藤(勝)	アンモニウムジニトラミド系エネルギーイオン液体の燃焼特性解析に基づく燃焼波構造モデルの構築
	加藤(勝)	重松	各種の貯蔵雰囲気におけるニトロセルロースの熱分解挙動
	重松	新戸	エタノール発酵に対する発酵促進物質と攪拌操作の効果の比較
	三島	久保田	超臨界二酸化炭素を用いた α -トコフェロールのマイクロカプセル化
	鈴川	松隈	攪拌槽の邪魔板が動力および自由表面形状に与える影響 ーシミュレーションおよび実験ー
	新戸	重松	ガラス毛细管マイクロ流体デバイスを用いた細胞封入アルギン酸マイクロカプセルの作製
	三島	久保田	高圧力技術を用いたマンゴー葉からの生理活性成分の抽出と有効成分内包型リポソームの開発
	三島	加藤(貴)	アミノ酸系界面活性剤の開発
	加藤(貴)	野田	アンモニウムジニトラミド/ヒドラジド混合系の燃焼特性に及ぼす液相反応の影響
加藤(勝)	加藤(貴)	自動車エアバッグ用ガス発生剤の燃焼性に及ぼすマグネシウム化合物添加の影響	
鈴川	松隈	枕型攪拌槽の最適構造に関する研究 ー動力、流動および混合特性ー	

専攻	主査	副査	論題
建設工学 (24名)	宮崎	野田	災害時における外国人観光客への災害支援対策の実態調査とその拡充に向けた研究 －福岡市と熊本市の比較から考察－
	佐藤(研)	村上	炭酸化処理と比重差選別を組み合わせた新しい焼却主灰の土木資材化に関する研究
	吉澤	高山	履歴型および粘性型のダンパーを用いた超高層建物の性能設計に関する研究
	宮崎	野口	草葺き屋根の継承に関する研究 ー北部九州地域の平野部におけるケーススタディーー
	橋本	渡辺(亮)	深層学習を用いた豪雨時の河川水位予測における学習データの検討
	柴田	辰巳	無形民俗文化財における防災への取り組み状況に関する基礎的考察
	宮崎	野田	Instagramの投稿から見たカフェの立地とファサードデザインに関する研究
	太記	四ヶ所	建築の両義的解釈:トランスコード的設計手法・試論
	吉澤	田中(照)	中層木造建築物の構造計画における耐震性能向上に関する研究
	渡辺(浩)	下妻	鋼ランガートラス橋の中間横桁ウェブに生じた水平亀裂の発生原因究明と亀裂抑制構造の解析的検討
	太記	四ヶ所	現代日本の建築家によるヴォールト天井をもつ空間の設計意図と断面構成
	柴田	辰巳	シビックプライド醸成に寄与する景観計画の策定プロセスに関する考察 －大分県津久見市を事例として－
	高山	吉澤	免震・制振ハイブリッド構造を用いた大振幅地震動に対する地震時応答の抑制効果に関する研究
	柴田	辰巳	小規模街区公園を巡る再編成プランに関する考察 ー福岡県糸島市を対象としてー
	柴田	辰巳	福岡県内における金属盗難の現状と対策に関する基礎的考察
	田中(照)	吉澤	鋼構造建築物の部材リユースを想定した耐震設計技術に関する研究
	樫原	塚越	低炭素化と生産性向上を図ったプレキャストコンクリートの蒸気養生特性
	太記	野口	クド造り民家の立地と 規模との関係性に関する研究 －山間部の大型クド造り民家を対象として－
	太記	四ヶ所	現代住宅における茶室の役割および日常空間と茶室を結ぶ動線の意匠特性について
	柴田	辰巳	エリアマネジメント団体からみた天神明治通り「グランドデザイン実現の手引書」の改訂プロセスに関する考察
池添	野口	大都市都心部における囲み型公開空地の利用特性に関する研究	
柴田	辰巳	風致公園における再整備事業のデザインプロセスに関する考察 ー福岡県宮西公園を事例としてー	
吉澤	高山	連結制振構造における連結部の最適な減衰に関する研究	
資源循環・環境工学 (2名)	鈴木(慎)	田中	資源回収拠点の利用と健康に関する研究
	為田	柳橋	安定型最終処分場の効率的な搬入管理手法の開発

2.5.2 博士論文

令和6年度 博士論文論題及び審査委員一覧

区分	専攻	主査	副査	論題
課程博士	情報・制御システム工学専攻	孟	太郎丸	電磁散乱波形と機械学習を用いた平板層状媒質の比誘電率分布の推定に関する基礎研究
			工藤 (大分大学)	
		名倉	佐藤(寿)	論理集積回路における放射線誘起シングルイベント過渡パルスの回路伝搬現象に関する研究
			中村 (九州工業大学)	

2.5.3 学生が受賞した学術賞

令和6年度 受賞一覧

専攻 【課程】	受賞時 の年次	賞名	授与団体	年月
機械工学専攻 【博士課程前期】	1年	Best Poster Award	EPRI Workshop on hydrogen Embrittlement 2024	令和6年6月
機械工学専攻 【博士課程前期】	1年	Best Poster Award	The 24th European Conference on Fracture	令和6年8月
機械工学専攻 【博士課程前期】	1年	Best Paper Award	7th International Conference on Materials and Reliability	令和6年12月
機械工学専攻 【博士課程前期】	2年	Best Paper Award	7th International Conference on Materials and Reliability	令和6年12月
機械工学専攻 【博士課程前期】	2年	若手優秀講演フェロー賞	日本機械学会	令和7年3月
電気工学専攻 【博士課程前期】	2年	令和6年度 優秀論文発表賞B賞	電気学会九州支部	令和6年12月
電気工学専攻 【博士課程前期】	2年	令和6年度 学生講演奨励賞	日本表面真空学会九州支部	令和6年6月
電気工学専攻 【博士課程前期】	2年	令和6年度 講演奨励賞	プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部	令和6年12月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	1年	火薬学会 2024年度春季研究発表会 優秀講演賞	火薬学会	令和6年5月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	1年	火薬学会 2024年度春季研究発表会 優秀講演賞	火薬学会	令和6年5月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	優秀発表賞	日本エネルギー学会西部支部	令和6年11月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	ISEM 2024 The Excellent Poster Presentation Award	火薬学会	令和6年11月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	1年	ISEM 2024 The Excellent Poster Presentation Award	火薬学会	令和6年11月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	1年	第57回安全工学会研究発表会 学生講演賞	安全工学会	令和6年12月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	ISChE 2024 Oral Presentation Award	化学工学会九州支部	令和6年12月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	優秀発表賞	日本感性工学会	令和7年3月

化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	火薬学会西部支部2024年度卒業論文・修了論文発表会 優秀講演賞	火薬学会西部支部	令和7年3月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	GEE2024 Excellent Presentation Award	Geo-Environmental Engineering 2024	令和6年5月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	JS-Surabaya2024 Best presenter on student session	International Joint Symposium 2024	令和6年12月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	令和6年度 優良学生賞	地盤工学会九州支部	令和7年3月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	2024年度 日本建築学会技術部門設計競技 佳作	一般社団法人 日本建築学会	令和6年8月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	2024年度 日本建築学会九州支部都市計画セミナー 審査委員長賞	一般社団法人 日本建築学会 九州支部	令和6年9月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	第12回ヒューリック学生アイデアコンペ 佳作	ヒューリック株式会社	令和6年11月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	土木学会西部支部研究発表会優秀講演者賞	土木学会西部支部	令和7年3月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	土木学会西部支部研究発表会優秀講演者賞	土木学会西部支部	令和7年3月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	日本都市計画学会都市構造評価特別委員会賞	日本都市計画学会	令和7年2月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	夢アイデア優良賞	一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部	令和6年12月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	日本都市計画学会九州支部研究発表会ポスターセッション優秀賞	日本都市計画学会九州支部	令和6年4月
建設工学専攻 【博士前期課程】	2年	建築九州賞 研究新人賞	日本建築学会九州支部	令和6年5月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	九州学生奨励賞	日本建築構造技術者協会九州支部	令和6年9月
エネルギー・環境システム専攻 【博士課程後期】	2年	奨励賞	廃棄物処理施設技術管理協会	令和6年6月

第3章 研究活動

3.1 学術論文と学会発表、学術賞

令和6年度 論文等研究成果の発表状況

学科・グループ	論文	講演	著書	その他
機械工	21	97	1	9
電気工	18	22	0	0
電子情報工	45	64	0	0
化学システム工	12	105	2	17
社会デザイン工	40	142	1	26
建築	13	48	0	7
資源循環・環境	14	32	7	12
図学	0	0	2	0
計	163	510	13	71

令和6年度 学術賞受賞実績

学科・グループ	受賞数
機械工	5
電気工	4
電子情報工	10
化学システム工	10
社会デザイン工	15
建築	3
資源循環・環境	0
図学	0
計	47

3.2 科学研究費採択課題一覧

令和6年度 科学研究費（独立行政法人日本学術振興会 所管）

制度	研究費目	学科・グループ	課題
補助金分	基盤研究（A）	建築学科	免震・制振部材および周辺構造の実大実荷重動的実験による免震・制振構造の信頼性向上
基金分	基盤研究（B）	電子情報工学科	情報指向無線ネットワークを利用した災害時情報共有システムの設計
		化学システム工学科	漢方薬残渣の発酵促進効果を活用した第二世代バイオエタノール製造の高効率化
		化学システム工学科	環境微生物に対する微小プラスチックの毒性発現メカニズムと抗菌性ポリマー粒子の設計
	基盤研究（C）	機械工学科	マルチトラップ効果という新たな理論を導入した水素拡散係数の合理的解釈
		機械工学科	内燃機関内の環境条件下における残存燃料膜の燃焼現象の解明とその数理モデルの構築
		電気工学科	原料分子のパルスプラズマ分解によるカーボン膜形成とその反応の解明
		電気工学科	協働ロボットの表面に巻き付け可能な紐状近接覚・触覚センサ
		電気工学科	ステレオイベントカメラを用いた放電現象の時空間温度分布計測システムの開発
		電子情報工学科	ロボット運用環境のシナリオベースシミュレーションの体系化に関する研究
		電子情報工学科	地方議会活動コーパス構築のためのレガシーPDF文書の構造化に関する研究
		電子情報工学科	電源電圧の動的制御による耐タンパ性LSI設計技法
		電子情報工学科	階層化による冗長ヘッダ情報の削減と新フレームフォーマットの開発
		化学システム工学科	プラント安全のための有害アラームリアルタイム検出型論理アラーム処理技術の開発
		化学システム工学科	高圧ガス-水系気液界面での薬剤含有高分子ナノマイクロカプセル創製
		化学システム工学科	酵母表面の糖鎖を利用したバイオ分離材料の開発と病原体捕捉システムへの応用
		化学システム工学科	テララメイドな二酸化炭素の電気化学転換を実現する金属膜積層電極の開発
		社会デザイン工学科	溶接部の形状・残留応力改善を併用した次世代型ハイブリッド疲労強度向上手法の確立
		社会デザイン工学科	木質バイオマス灰を用いた環境安全性に配慮した再生砕石技術の確立に関する研究
		社会デザイン工学科	認知機能低下高齢者にもやさしい土木デザインのパターンとサポートコミュニティの構築
		社会デザイン工学科	炭素固定化量の最大化と中性化抑制の両立による新たな低炭素型コンクリートの開発
		社会デザイン工学科	比重差選別と炭酸化処理を併用した改質焼却主灰の土木資材利用に関する研究
		建築学科	戸建て住宅地の組合方式による日本型ネイバーフッドリノベーションの提案
		建築学科	10世紀コンスタンティヌポリスの公共空間（広場・街路・ヒポドロム）と文献史料
	建築学科	躯体と内外装材を一体とした外壁の耐久性評価システムと高性能外壁保護仕上材の開発	
	若手研究	機械工学科	水素影響下におけるオーステナイト系析出強化材の疲労限度評価法の確立
		電気工学科	窒素ファインバブルや非イオン界面活性剤を用いた菜種油の高性能化に向けた基礎研究
		化学システム工学科	粗グリセリンと木質バイオマスの複合による有価物へのアップサイクル
		社会デザイン工学科	振動特性に着目した橋梁損傷検出のための全自動モニタリングシステムの開発と実験的検証
	研究活動スタート支援	社会デザイン工学科	コンクリートの締固め条件がDEF（遅延エトリンガイト生成）の発現に及ぼす影響

※令和6年度に内約があった科研費

※科研費補助金分：令和5年度からの繰越課題を除く。

※科研費基金分：令和5年度からの延長課題を除く。

3.3 産学連携活動の外部資金（受託研究・研究助成寄附金・共同研究

令和6年度 受託研究費の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	2,065,071 円
電気工学科	0 円
電子情報工学科	32,764,114 円
化学システム工学科	8,863,000 円
社会デザイン工学科	52,760,383 円
建築学科	830,000 円
資源循環・環境グループ	35,930,615 円
工学部 (37件)	133,213,183 円

令和6年度 研究助成寄附金の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	1,425,000 円
電気工学科	600,000 円
電子情報工学科	1,580,000 円
化学システム工学科	1,350,000 円
社会デザイン工学科	21,048,500 円
建築学科	3,750,000 円
資源循環・環境グループ	1,000,000 円
工学部 (39件)	30,753,500 円

令和6年度 共同研究の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	7,150,000 円
電気工学科	187,500 円
電子情報工学科	12,000,000 円
化学システム工学科	15,650,000 円
社会デザイン工学科	16,798,000 円
建築学科	4,300,000 円
資源循環・環境グループ	1,500,000 円
工学部 (40件)	57,585,500 円

第4章 入学・広報活動

4.1 入試制度

工学部における令和7年度入試（令和6年度実施）制度は、前年度と同様である。

学科	入学定員	令和7年度入試（令和6年度実施）における募集定員												
		総合型選抜 学校推薦型			一般選抜						特別選抜			
		総合型	アスリート特別選抜	学校推薦型（A方式）	系統別日程	前期日程	後期日程	前期日程・共通テスト併用型	共通テスト利用型		社会人	帰国生徒	編・転・学士	学部留学生
									I期	II期				
機械工学科	110	2	3程度	14	10	55	3	8	4	4	若干人	若干人	若干人	若干人
電気工学科	110	3		14	10	55	3	8	4	3	—			
電子情報工学科	150	2		19	14	75	4	13	5	4	—			
化学システム工学科	110	3		12	10	55	3	8	4	3	—			
社会デザイン工学科	110	2		14	10	50	3	13	4	3	若干人			
建築学科	110	2		14	10	50	3	13	4	3	—			

4.2 入試状況

令和7年度入試の工学部における実施状況は以下の通りである。

学科	推薦専願								併願-大濠			併願-若葉			留学生	
	総合	スポ特	特別連携指定校	指定校	公募型(A)	大濠	若葉	計	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	合格者数	入学者数
機械工学科	3	0	8	9	17	1	2	40	7	6	1	1	1	1	1	1
電気工学科	3	0	9	9	14	0	2	37	0	0	0	0	0	0	0	0
電子情報工学科	2	0	16	7	29	5	6	65	15	9	5	0	0	0	2	2
化学システム工学科	5	0	9	11	5	1	0	31	3	3	3	0	0	0	0	0
社会デザイン工学科	6	0	7	7	17	1	7	45	2	2	1	0	0	0	0	0
建築学科	4	0	17	7	21	1	5	55	9	6	3	1	0	0	0	0

学科	系統別			前期日程			後期日程		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
機械工学科	165	62	5	565	309	48	11	3	2
電気工学科	151	61	9	487	257	58	6	3	1
電子情報工学科	229	77	13	1097	420	79	23	4	2
化学システム工学科	128	65	18	522	259	49	12	3	2
社会デザイン工学科	161	44	6	483	215	60	19	3	2
建築学科	144	40	9	774	224	41	26	3	3

学科	共通テスト併用型			共通テスト利用型 Ⅰ期			共通テスト利用型 Ⅱ期		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
機械工学科	305	182	7	164	101	4	74	31	3
電気工学科	265	186	14	79	50	1	44	15	0
電子情報工学科	506	256	18	245	124	4	118	55	5
化学システム工学科	281	212	21	130	94	4	42	17	1
社会デザイン工学科	264	174	27	100	68	1	41	16	0
建築学科	402	153	14	195	82	2	74	25	2

4.3 模擬講義

令和6年度に工学部で行った模擬講義は以下の通りである。学科略称を以下に示す。

機械工学科 (TM) 電気工学科 (TE) 電子情報工学科 (TL)

化学システム工学科 (TK) 社会デザイン工学科 (TC) 建築学科 (TA)

開催日	高校名	開催場所	出講者	学科
4/23	南筑高等学校	高校	折居 英章	TE
4/25	光陵高等学校	高校	森山 茂章	TM
5/31	柳井高等学校	高校	岩村 誠人	TM
5/30	精華女子高等学校	大学	三島 健司	TK
6/7	福島高等学校	高校	高山 峯夫	TA
6/11	鹿屋中央高等学校	高校	X	TM
6/11	田川高等学校	大学	折居 英章	TE
6/13	常磐高等学校	高校	岩村 誠人	TM
7/3	朝倉東高等学校	大学	重松 幹二	TK
7/10	福岡工業大学附属城東高等学校	大学	赤木 富士雄	TM
7/11	福岡舞鶴高等学校	大学	高橋 伸弥	TL
7/12	若葉高校	高校	渡辺 浩	TC
7/22	明豊高等学校	大学	瀬戸 弘一	TK
7/24,25	佐世保西高等学校	高校	岩村 誠人	TM
8/2	福岡工業高校	大学	森山 茂章	TM
8/2	福岡工業高校	大学	篠原 正典	TE
8/2	福岡工業高校	大学	末次 正	TL
8/2	佐賀清和高等学校	高校	吉澤 幹夫	TA
9/10	大分南高等学校	大学	岩村 誠人	TM
9/10	大分南高等学校	大学	高橋 伸弥	TL
9/17	久留米高校	高校	塚越 雅幸	TA
9/20	東福岡高等学校	高校	辻 聡史	TE
10/3	三養基高等学校	高校	高山 峯夫	TA
10/5	若葉高校	大学	篠原 正典	TE
10/5	若葉高校	大学	鈴川 一己	TK
10/19	サイエンスアカデミー福岡会場	高校	渡辺 浩	TC
10/20	サイエンスアカデミー鹿児島会場	高校	渡辺 浩	TC
10/30	自由ヶ丘高校	高校	橋本 涼太	TC
12/12	柏陵高校	高校	尾木 陽子	TC
12/17	若葉高校	高校	山辺 純一郎	TM
3/3	ザビエル高校	高校	岩村 誠人	TM

5.1 学生在籍状況

令和6年度工学部学籍一覧表

令和6年5月1日現在

年次 学科	学年 入学年	1年 2024	2年 2023	3年 2022	4年 2021	5年 2020	6年 2019	7年 2018	8年 2017	合計
機械工	女子	3	4	2	3					12
	休学 在籍			1	1					2
		112	110	106	106	13	1			448
電気工	女子	1	2		1					4
	休学 在籍		1		1					2
		104	112	90	97	21	3	2		429
電子情報工	女子	14	15	12	9	1	2			53
	休学 在籍			2	1	1			1	5
		159	150	143	136	20	8	3	2	621
化学システム工	女子	32	25	31	22					110
	休学 在籍			1	1		1			3
		104	95	96	88	4	1	1		389
社会デザイン工	女子	22	17	13	22					74
	休学 在籍			1						1
		108	114	85	113	11	4			435
建築	女子	39	38	35	36	2	1	1		152
	休学 在籍			1						1
		125	108	118	100	13	7	3		474
工学部	女子	111	101	93	93	3	3	1		405
	休学 在籍		1	6	4	1	1		1	14
		712	689	638	640	82	24	9	2	2,796

5.2 学年暦

令和6年度 工学部学年暦

年月日		事項
令和6年	1 月	入学式
	2 火	新入生履修登録ガイダンス
	3 水	新入生履修登録開始
	11 木	前期授業開始
	21 火	創立記念日
	26 日	父母懇談会(大阪)
	1 土	父母懇談会(熊本)
	2 日	父母懇談会(鹿児島)
	8 土	特待生表彰式
	9 日	父母懇談会(大分)
	15 土	父母懇談会(本学)
	23 日	父母懇談会(山口)
	30 日	父母懇談会(長崎)
	7 日	父母懇談会(那覇)
	23 火	前期授業終了
	24 水	前期定期試験開始
	2 金	前期定期試験終了(予備日)
	4 日	夏季休業開始 オープンキャンパス
	5 月	前期集中講義(～9日)
	2 月	前期成績発表 後期集中講義(～6日)
	4 水	後期履修登録変更(～6日)
	13 金	夏季休業終了 前期学士合格者発表
	16 月	後期授業開始
	21 土	総合型選抜(～10/12日)
	28 土	前期卒業式

年月日		事項
令和6年	2 土	七隈祭(～4日)
	16 土	学校推薦型選抜(指定校・附属校)(～17日)
	17 日	帰国生徒、社会人選抜
	24 日	学校推薦型選抜(A方式)
	12 27 金	冬季休業開始
	4 土	冬季休業終了
	6 月	後期授業再開
	14 火	後期授業終了
	15 水	後期定期試験開始
	18 土	大学入学共通テスト(～19日)
	28 火	後期定期試験終了(予備日)
令和7年	2 日	一般選抜系統別日程
	5 水	一般選抜前期日程(～6日、11日)
	8 土	学部留学生選抜
	13 木	成績発表(4年次生他)
	21 金	第一次学士合格者発表 追・再試験開始
	28 金	追・再試験終了 編・転・学士選抜
	7 金	一般選抜後期日程
	10 月	第二次学士合格者発表
	14 金	在学生成績発表
	19 水	卒業式
	21 金	在学履修登録(～28日)
31 月	学年終了	

【機械工学科】令和6年度入学生(24名)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
工学 共通 科目	必修 科目	微分積分Ⅰ	2	物理学C	2				
		微分積分Ⅱ	2	物理学実験	2				
		線形代数Ⅰ	2						
		線形代数Ⅱ	2						
		力学A	2						
		化学A	2						
		化学実験	2						
	小計		14		4				
専 門 教 育 科 目	選 択 科 目	力学B	2	統計	2	数理統計Ⅰ	2		
		物理学A	2	微分積分Ⅲ	2	数理統計Ⅱ	2		
		化学B	2	微分積分Ⅳ	2	物理学D	2		
		図学Ⅰ	2	関数論	2	基礎防災学	2		
		小計		8		8		8	
	計		22		12		8		
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	工業力学Ⅰ	2	材料力学Ⅰ	4	材料試験	1	流体工学実験	1
		技術者リテラシーⅠ	1	流体工学Ⅰ	2	機械要素設計Ⅰ	2	熱工学実験	1
				流体工学Ⅱ	2	機械力学・制御実験	1	卒業論文	6
				工業熱力学Ⅰ	2				
				工業熱力学Ⅱ	2				
				機械加工法	2				
				機械制御工学Ⅰ	2				
				機械製図法	1				
				金属材料学	2				
				機械力学Ⅰ	2				
				工業力学Ⅱ	2				
				機械工作実習	1				
	小計		3		24		4		8
専 門 教 育 科 目	選 択 科 目	機械工作法	2	機械制御工学Ⅱ	2	固体力学	2		
		機構学	2	△ 機械工学設計演習A	1	ターボ機械	2		
		情報処理入門	2	計測工学	2	工作機械	2		
				材料力学Ⅱ	4	流体力学Ⅰ	2		
				[技術者リテラシーⅡ]	1	流体力学Ⅱ	2		
						伝熱工学Ⅰ	2		
						伝熱工学Ⅱ	2		
						ヒートポンプ・空調工学	2		
						機械要素設計Ⅱ	2		
						機械制御工学Ⅲ	2		
						ロボット工学	2		
						機械力学Ⅱ	2		
						△ 機械工学設計演習B	1		
						△ 機械工学設計演習C	1		
						△ 機械工学設計演習D	1		
						△ 機械工学設計演習E	1		
						工業経営	2		
						数値解析	2		
						熱エネルギー変換工学	2		
						[トライボロジー]	2		
						機械材料学	2		
						複合材料学	2		
						機械情報処理	2		
						電気工学通論	2		
						電子工学通論	2		
						化学工学通論	2		
						[技術者リテラシーⅢ]	1		
						流体機械	2		
						総合工業論	2		
	小計		6		10		53		
	計		9		34		57		8

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上を修得すること。(2) []内は今年度休講。

【電気工学科】令和6年度入学生(24名)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工学 共通 科目	必修科目	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 力学A 力学B 物理学実験	2 2 2 2 2 2 2						
	小計		14						
	選択科目	化学A 化学B 図学Ⅰ	2 2 2	統計 化学実験 物理学A 物理学B 微分積分Ⅲ 微分積分Ⅳ 関数論 力学C	2 2 2 2 2 2 2 2	基礎防災学	2		
	小計		6		16		2		
計			20		16		2		
専 門 教 育 科 目	必修科目	電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 基礎電気工学 電気入門Ⅰ 電気入門Ⅱ	2 2 2 2 1 1 1	電気磁気学Ⅲ 電気磁気学Ⅳ 電気回路Ⅲ 電気回路Ⅳ 電気計測Ⅰ 電気計測Ⅱ 電気物性論Ⅰ 電気物性論Ⅱ 電気機器Ⅰ 電気機器Ⅱ 電気基礎実験Ⅰ 電気基礎実験Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	発変電工学Ⅰ 発変電工学Ⅱ 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 電力伝送工学Ⅰ 電力伝送工学Ⅱ 電気材料Ⅰ 電気材料Ⅱ パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ デジタル制御工学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	卒業論文	3
	小計		11		24		22		3
	選択科目	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	2 2	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ	2 2 2 2	高電圧工学 照明電熱工学 通信工学 数値解析 プログラム技法 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電気法規及び施設管理 応用電気化学大意 ○電気工学実験Ⅰ ○電気工学実験Ⅱ 総合工業論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	電力システム工学 システム工学 電気機器設計学 電気設計製図 ○電気工学実験Ⅲ 技術者倫理・安全管理	2 2 2 2 2 2 2
	小計		4		8		24		12
計			15		32		46		15

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

【電子情報工学科】令和6年度入学生(24名)
【共通教育科目(省略)】

△印及び▲印は選択必修

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ	2						
		微分積分Ⅱ	2						
		線形代数Ⅰ	2						
		線形代数Ⅱ	2						
		力学A	2						
		力学B	2						
		物理学実験	2						
	小計		14						
	選択科目	国Ⅰ	2	化学A	2	基礎防災学	2		
				化学B	2	数理統計Ⅰ	2		
				力学C	2	数理統計Ⅱ	2		
				物理学A	2				
				統計	2				
				化学実験	2				
	小計		2		12		6		
	計		16		12		6		
必修科目	全コース共通	電気回路Ⅰ	2	論理回路	2	電子情報工学特別演習	1		
		電気回路Ⅱ	2	電子情報工学実験	2				
		プログラミングⅠ	2	電子情報基礎演習	1				
		プログラミングⅡ	2	データ構造とアルゴリズムⅠ	2				
		情報通信機器概論	2	計算機工学Ⅰ	2				
		電子情報工学特論	2						
		小計		12		9		1	
	電子通信				電気磁気学	2	工業数学	2	
					半導体工学	2	電子通信工学実験	2	
					電子回路	2			
				デジタル信号処理	2				
				通信工学Ⅰ	2				
	小計				10		4		
情報コース				情報理論	2	マイクロコンピュータ	2		
				プログラミング演習Ⅰ	1	オペレーティングシステム	2		
				プログラミング演習Ⅱ	1	計算機ネットワーク	2		
						情報工学実験A	1		
						情報工学実験B	1		
	小計				4		8		
情報システムコース				オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2	卒業論文	
				情報数学	2	情報処理システム開発	2	情報職業論	
				データ構造とアルゴリズムⅡ	2	マイクロコンピュータ	2		
				情報理論	2	オブジェクト指向プログラミング	2		
				プログラミング演習Ⅰ	1	プロジェクト型ソフトウェア開発演習	2		
				プログラミング演習Ⅱ	1	オペレーティングシステム	2		
						計算機ネットワーク	2		
						ネットワークシステム	2		
					情報系のための確率・統計	2			
					情報セキュリティ	2			
					情報工学実験A	1			
					情報工学実験B	1			
	小計				10		22	8	
専門教育科目	全コース共通			△数値計算法	2	△通信工学Ⅱ	2	ロボティクス	2
				△制御工学	2	△計算機工学Ⅲ	2	マルチメディア概論	2
				△アナログ回路	2	センサと計測	2	工業経営	2
				▲計算機工学Ⅱ	2	通信・放送システム	2	情報化社会論	2
						工業英語	2		
						総合工業論	2		
					デジタル電子回路	2			
					半導体デジタルグリーンインターンシップ	1			
		小計				8		14	8
	電子通信コース				△電磁波理論	2	△電子系のための情報処理	2	△卒業論文
				△情報理論	2	△集積回路プロセス	2	情報職業論	2
				△電子物性	2	△通信応用	2		
				電気回路Ⅲ	2	△半導体デバイス	2		
				関数論	2	△光エレクトロニクス	2		
				微分積分Ⅲ	2	△マイクロコンピュータ	2		
				微分積分Ⅳ	2	オペレーティングシステム	2		
				プログラミング演習Ⅰ	1	計算機ネットワーク	2		
					情報処理システム開発	2			
					ネットワークシステム	2			
					情報系のための確率・統計	2			
					情報セキュリティ	2			
					通信法規	2			
					物理学D	2			
	小計				15		28	8	
情報コース				電気磁気学	2	データベースシステム	2	卒業論文	6
				オートマトンと言語理論	2	オブジェクト指向プログラミング	2	情報職業論	2
				情報数学	2	情報処理システム開発	2		
				データ構造とアルゴリズムⅡ	2	▲ネットワークシステム	2		
				電子回路	2	情報系のための確率・統計	2		
				デジタル信号処理	2	情報セキュリティ	2		
					知識工学	2			
					通信工学Ⅰ	2			
					コンパイル構成法	2			
	小計				16		20	8	
情報システムコース				電気磁気学	2	△知識工学	2		
				電子回路	2	△画像処理工学	2		
				デジタル信号処理	2	△自然言語処理工学	2		
				通信工学Ⅰ	2	△音声情報処理工学	2		
				コンパイル構成法	2				
	小計				10		8		

- (注) (1) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の▲印のうち1科目以上修得すること。
(2) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の4年次開講科目より6単位以上修得すること。
(3) 情報システムコースの学生は選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。

【化学システム工学科】令和6年度入学生(24名)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工学 共通 科目	必修科目	微分積分Ⅰ	2						
		線形代数Ⅰ	2						
		力学A	2						
		基礎物理化学A	2						
		基礎物理化学B	2						
物理学実験		2							
化学実験	2								
小計		14							
専 門 教 育 科 目	必修科目	微分積分Ⅱ	2	統計	2	基礎防災学	2	数理統計Ⅰ	2
		線形代数Ⅱ	2	微分積分Ⅳ	2				
		力学B	2	関数論	2				
		物理学A	2	物理学C	2				
力学C		2	力学C	2					
小計		8	10	2	2				
計		22	10	2	2				
専 門 教 育 科 目	必修科目	キャリアデザイン	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1
		化学工学と社会	2	化学工学実験Ⅰ	4	化学工学実験Ⅱ	6	化学工学演習Ⅳ	1
		基礎無機化学	2	技術者倫理	2	外書講読・コミュニケーション	2	化学工学特別講義	2
		基礎有機化学Ⅰ	2	生物科学	2	反応工学	2	卒業論文	4
		基礎有機化学Ⅱ	2	情報処理基礎	2	研究開発序論	2		
	分析化学	2	化学工学プログラミング	2	地球環境科学	2			
	化学工学計算法	2	応用物理化学	2					
	化学反応速度論	2							
	流体工学	2							
	小計		13	19	17	8			
選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通	化学工学数学		化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2
		粉粒体工学		拡散分離工学	2	物質移動工学Ⅰ	2		
	小計		4	4	12	2			
選 択 科 目	コ ー ス 工 学	工業有機化学		工業有機化学	2	無機製造化学	2	高分子化学	2
		環境安全工学		触媒プロセス工学	2	工業有機材料	2		
	工業無機化学		物質移動工学Ⅱ	2	応用物性工学	2			
	小計		6	6	10	2			
	両 コ ー ス 共 通	グラフィックデザイン	2	機器分析	2	機械的分離工学	2	エネルギー工学概論	2
工業無機材料	2	量子化学概論	2	[電気工学通論]	2				
工業微生物学概論	2	医療薬理化学	2	生物化学工学	2				
総合工業論	2								
小計		4	6	10	2				
選 択 科 目	コ ー ス 工 学	工業有機化学		無機製造化学	2	高分子化学	2		
		環境安全工学		触媒プロセス工学	2				
	工業無機化学		工業有機材料	2	物質移動工学Ⅱ	2			
	小計		6	6	10	2			
	分 子 工 学 コ ー ス	化学工学数学		化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2
粉粒体工学		粉粒体工学	2	拡散分離工学	2				
物質移動工学Ⅰ		物質移動工学Ⅰ	2	輸送現象	2				
化学プロセス工学		化学プロセス工学	2	プロセスシステム工学	2				
プロセスシステム工学									
小計		4	4	12	2				

(注) (1)いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。

(2) []内は今年度休講。

【社会デザイン工学科】令和6年度入学生(24名)

【共通教育科目(省略)】

△印は選択必修

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
工学 共通 科目	必修 科目	微分積分Ⅰ	2	物理学実験	2				
		微分積分Ⅱ	2						
		線形代数Ⅰ	2						
		線形代数Ⅱ	2						
力学A		2							
力学C		2							
統計		2							
小計	14	2							
選 択 科 目	図学 物理学A	2	化学A	2	基礎防災学	2			
		2	化学実験	2					
		2	微分積分Ⅲ	2					
小計	4	8	2						
計	18	10	2						
専 門 教 育 科 目	必修 科目	建設景観学	2	静定構造力学及び演習	3	橋梁工学	2	卒業論文	4
		建設材料学	2	不静定構造力学及び演習	3	河川工学	2		
		環境工学概論	2	基礎水理学及び演習	3	地盤工学	2		
		測量学	2	応用水理学及び演習	3	都市計画	2		
		測量実習	2	基礎地盤力学及び演習	3	環境アセスメント	2		
		社会デザインの力学基礎	2	応用地盤力学及び演習	3	構造・空間デザイン演習	2		
		工業数学	2	社会基盤計画学	2	材料・地盤実験	2		
		社会デザインとの出会い	1	交通計画学	2	キャリアデザイン	2		
				コンクリート工学	2	キャリア演習	1		
				鉄筋コンクリート	2	技術者倫理	2		
				建設施工学	2				
				地球環境工学	2				
				上下水道学	2				
				水理・環境実験	2				
			情報処理演習	1					
小計	15	35	19	4					
選 択 科 目				耐震工学・地震防災	2				
				水資源工学	2				
				防災・環境地盤工学	2				
				景観デザイン論	2				
				建設マネジメント	2				
				廃棄物資源循環工学	2				
				実践測量実習	1				
				建設CAD	2				
				社会基盤の維持管理	2				
				工業火薬学	2				
総合工業論	2								
小計			21						
計	15	35	40	4					

【建築学科】令和6年度入学生(24名)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工 学 共 通 科 目	必修科目	図学Ⅰ 図学Ⅱ	2 2						
	小計		4						
	選 択 科 目	微分積分Ⅰ	2	統計	2				
		微分積分Ⅱ	2	化学実験	2				
		線形代数Ⅰ	2	力学C	2				
		線形代数Ⅱ	2	物理学実験	2				
力学A		2							
力学B		2							
化学A	2								
化学B	2								
小計		16		8					
計		20		8					
専 門 教 育	必 修 科 目	静定構造力学Ⅰ	2	静定構造力学Ⅱ	2	建築法規	2	卒業計画	6
		建築設計概論	2	不静定構造力学Ⅰ	2	空気調和設備	2	技術者倫理	2
		建築環境学概論	2	建築構造材料	2	都市計画Ⅰ	2		
		情報処理演習	1	建築仕上材料	2	都市計画Ⅱ	2		
				建築設計基礎	3	建築設計計画	2		
				建築設計演習A	3	建築生産	2		
				建築計画Ⅰ	2	建築学特別演習	1		
				建築計画Ⅱ	2	耐震工学	2		
				意匠論Ⅰ	2	建築設計演習B	3		
				建築環境学基礎	2	建築の構造Ⅰ	2		
		建築構法	2	建築の構造Ⅱ	2				
		建築総合実験	2						
小計		7		26		22		8	
育 科 目	選 択 科 目	構造力学演習Ⅰ	2	構造力学演習Ⅱ	1	不静定構造力学Ⅱ	2	建築マネジメント	2
		造形実習Ⅰ	1	構造力学演習Ⅲ	1	建築材料性能計画	2	建築構造設計演習	2
		造形実習Ⅱ	1	建築光環境	2	建築音環境	2	建築の防災と維持保全	2
				△ 建築史概論	2	建築衛生設備	2	総合設計演習B	3
				建築CAD	2	建築実務演習	2		
				プログラミング基礎	2	建築構造設計	2		
				測量実習	2	意匠論Ⅱ	2		
				建築キャリアデザイン	1	総合設計演習A	3		
				建築情報	2	木質構造	2		
						日本建築史	2		
				△ 近代建築史	2				
				ランドスケープデザイン論	2				
				総合工業論	2				
小計		4		15		27		9	
計		11		41		49		17	

(注) 専門教育科目・選択科目の△印のうち1科目以上修得すること。

5.4 図書工学部分室書籍貸出数

工学部分室蔵書冊数は、令和2年度に図書館の所蔵の取り扱いの変更のため大きく減少したが、それ以降の分室蔵書は増加が続いている。所蔵開始当初は、分室の書架狭隘のため、分室の蔵書としていた図書のうち利用が少ない図書は旧中央図書館に別置され、平成24年の新中央図書館設立時に自動書庫へ移管されていた。令和2年度のシステムリプレイス以前は中央図書館自動書庫へ移管した図書も分室の蔵書として集計していたが、システムリプレイスに伴い所蔵場所で集計することに変更された。そのため、令和2年度に中央図書館自動書庫の工学部分室所蔵の図書が中央図書館の所蔵となり、分室の蔵書冊数が減少した。

工学部分室の令和2年度の貸出冊数の急減は、新型コロナウイルス感染対策に伴う大学構内での活動制限（全ての館室で4月9日～5月31日まで閉館。6月1日～9月13日まで、中央図書館・各分室では事前申請による学生への入館制限。学外者は全ての館室で1年間入館不可）が影響している。

工学部分室蔵書冊数（図書・雑誌）

年度	図書			雑誌			蔵書冊数 合計	全学蔵書 冊数
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計		
令和元年度	80,972	37,451	118,423	27,136	33,921	61,057	179,480	2,042,234
令和2年度	59,872	17,858	77,730	11,382	14,003	25,385	103,115	2,052,402
令和3年度	60,224	17,671	77,895	11,676	14,301	25,977	103,872	2,062,889
令和4年度	60,559	17,852	78,411	11,915	14,579	26,494	104,905	2,074,059
令和5年度	60,988	18,023	79,011	12,129	14,886	27,015	106,026	2,079,863
令和6年度	61,493	18,197	79,690	12,334	15,178	27,512	107,202	2,086,195

工学部分室の貸出冊数（図書・雑誌・視聴覚資料・修士論文）

利用者区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学部学生	3,680	1,030	2,826	3,207	2,892	2,120
その他学生	12	0	12	13	25	0
大学院生	674	455	754	1,153	1,280	1,124
教職員	5,762	4,362	4,598	4,644	4,101	3,670
学外者	68	0	0	0	0	11
合計	10,196	5,847	8,190	9,017	8,298	6,925

工学分室の入館者数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
54,462	6,820	31,505	38,330	39,162	38,120

5.5 学生が取得した資格

令和6年度

R6に学生が取得した資格

学科名	資格	人数
電気工学科	第三種電気主任技術者（科目合格）	2
	第一種電気工事士	1
	第二種電気工事士	4

機械工学科 なし

電子情報工学科 なし

化学システム工学科 なし

社会デザイン工学科 なし

建築学科 なし

5.6 「学習意欲の向上と工学基礎教育の充実」プロジェクト

【取組目標】

(1) ものづくり研修

機械工・電気工・電子情報工・化学システム工の4学科は、外部業者に委託し、学内セミナーとして「自己の探求Ⅰ（自分を知り、他者を知り、チームビルディングを行う）」プログラムを、社会デザイン工・建築の2学科は、日帰り研修で専門性を生かす場の見学を予定した。このセミナー及び研修を行うことで、グループ学習による学生同士のコミュニケーションの場を提供し、教員と学生の親睦及び学科の連帯感の醸成、更に施設見学や研修発表会などを通して学習意欲の向上も目指すとともに、入学した学科への興味と将来の目標を持たせることにより、大学の学習環境への適応を促進し、初年次教育の充実を図ることを取り組み目標とした。また、建築学科では著名建築家講演会を開催し、建築のプロフェッショナルと触れ合うことで、建築をつくることの楽しさや面白さを再認識し、設計や研究に対する意識や学習意欲の向上を図ることを目標とした。

また、ものづくりセンターではプロジェクト企画を実施し、ものづくりを通して工学的感性を養い、体験による知識や技術力を備えさせることを取組目標とした。

チームビルディング研修参加者：機械工(112)、電気工(104)、電子情報工(159)、化学システム工(104)、日帰り研修参加者：社会デザイン工(108)、建築(125)

(2) 学習支援室 (T-Square) の設置

4号館5階に学習支援室(T-Square)を設置し、保健センター学生心理相談室、障がい学生支援センターと連携し、工学部教員OB、専従の教員の協力を得て、学生相談及び学習指導に当たることを取組目標とした。

【成果】

(1) ものづくり研修

本プログラムでは、自分の持ち味を認識し、自分に対する自信を深めることで、他者への理解と大学で自分の持ち味を發揮させてみようという意識と行動の変容がみられ、大学での人間関係や今後の学習への不安解消の一助となった。

日帰り研修は、社会デザイン工学科と建築学科が実施した。社会デザイン工学科では、有明海沿岸道路川副1号橋上部工事、佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館を見学し、座学では得られない社会デザインへの興味を惹起することができた。

建築学科はフィールド研修として北九州エリア(門司コース、小倉コース、戸畑・若松コースの3つに分かれて)の建築物を見学し、学生同士の交流に繋がったと同時に、これから学習する建築について興味の惹起につながった。また建築学科では隈研吾氏を招き講演会を開催し、建築家から直に話を聞くことで作品の図面や写真、解説などでは分からない、設計プロセス、設計方法、思考方法、意識、哲学などを知ることで建築の楽しさ、面白さの再認識と共有ができた。

ものづくりセンターでは令和6年度は、クリエイターズプロジェクトにおいて城南区の依頼を受けて城南区主催の”ふれあい城南フェスティバル2024”にてブースを出展し、地域の親子を主な対象としたワークショップを開催できた。WebデザインプロジェクトではHTMLやCSSを学習し、また、サーバーなどのWebシステムに関する知識を

深めることができた。エコラン、ロボットプロジェクトは大会出場のためものづくりに励み、ロボットプロジェクトは”九州夏ロボコン”に出場し、学びと共に他大学との親交も深めた。

(2) 学習支援室「T-Square」の設置

4号館の5階に気軽に様々な悩みの相談できる場所として「学習支援室(T-Square)」を開設し、今年度は9人の学部学生からの相談に対して、様々な授業科目の学習サポートを148コマ(1コマ90分)学習指導を行った。学力不振や学力に不安のある学生に少しずつではあるが学力を身につけさせている。今年度は指導する教員2名が専従となり、相談時間も増やす事ができ、より手厚い支援が可能になった。

第6章 国際交流

6.1 学生の留学状況

(1) 令和6年度海外派遣学生数

学部実施分 海外研修 台湾 5人

国際センター実施分 交換留学 0人、海外研修 10人

(2) 令和6年度交換留学、研修、訪問団など海外学生の受入れ数 22人

6.2 大学間協定・部門間協定

工学部が担当として新規に下記の大学と大学間協定を締結した。

(1) 台湾 長庚大学

(2) 台湾 雲林科技大学

(3) 台湾 亜州大学

第7章 就職・進路状況

令和2年度から令和6年度までの5年間の工学部および各学科の就職・進路状況の詳細は、以下の資料に示す通りである。

令和6年度の工学部の就職率（就職決定者数 / 就職希望者数）は前年度より1.4ポイント減少し、97.7%である。就職率は高水準の状態を維持しており、概ね横ばい傾向にある。全学部の就職率は前年度より0.1ポイント増加して97.3%（文系96.8%、理系98.2%）となっている。デフレ脱却に向けて日本経済はますます活発になっており、特に建設業では採用拡大の動きが顕著に現れている。円安や原材料価格の高騰、さらに夏期の長く続く猛暑などの影響から燃料・工業製品・農産物等の価格上昇が続く中、優秀な人材を早く獲得したいという企業の意向はますます強まり、初任給を数万円アップして学生に訴えかける姿勢は大企業のみならず中小企業にも及んでいる。

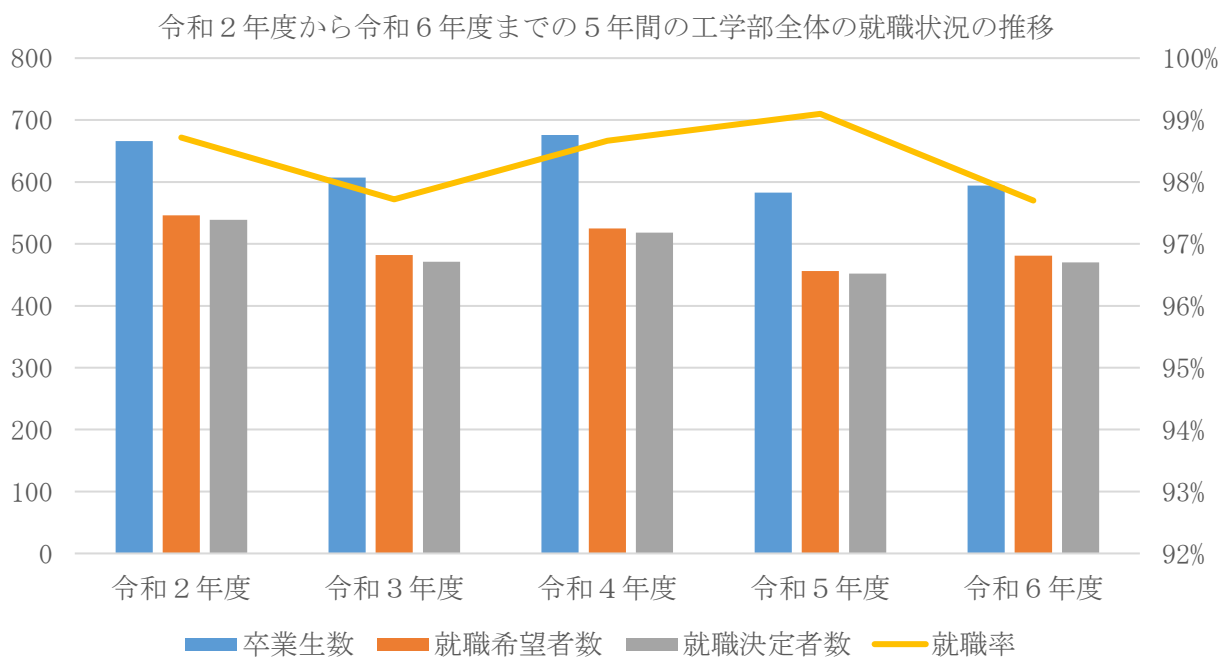
これまでの工学部各学科における就職対策の成果が、近年の高水準の就職率として現れているものと考えられる。工学部学生が就職する主な企業の採用活動開始は、政府主導で定められている時期よりも早く、3年次の12月に早期選考を実施する企業も増えている。それを踏まえ、これまでと同様にミスマッチを防ぎ、工学部学生がより充実した社会生活を送ることができるよう、より早い時期から各学科における就職活動のサポートと指導を行うことが重要になると考えられる。

また、令和6年度の大学院進学状況については、前年度より減少したものの、進学者数は90名を超えており15.5%の進学率を維持している。依然として高水準にあると考えられるが、就職環境が良好なためか、ここ数年間は緩やかな減少傾向にある。

7.1 就職状況

令和2年度から令和6年度までの5年間の工学部全体の就職状況の推移

年度	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	就職率
令和2年度	666	546	539	98.7%
令和3年度	607	482	471	97.7%
令和4年度	676	525	518	98.7%
令和5年度	583	456	452	99.1%
令和6年度	594	481	470	97.7%



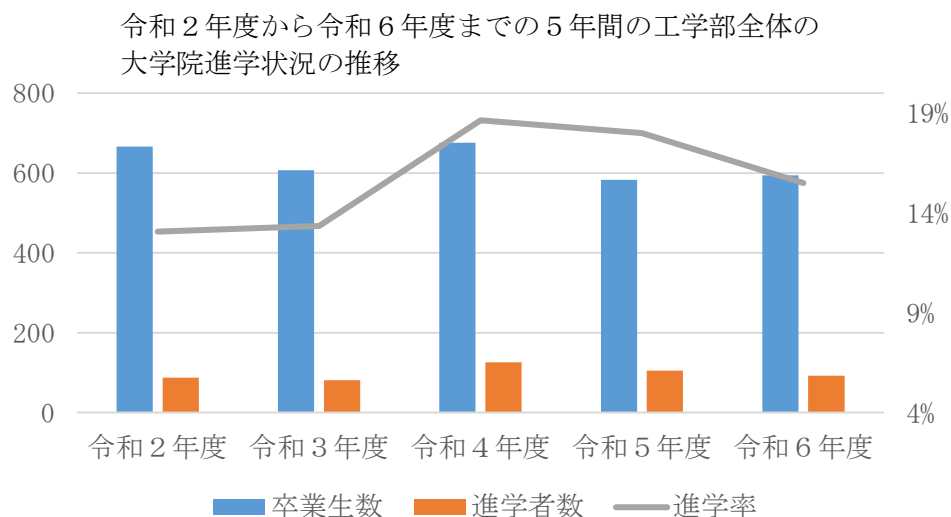
令和2年度から令和6年度までの5年間の工学部学科別就職状況

学 科		卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	就職率
機 械 工 学 科	令和2年	109	89	89	100.0%
	令和3年	98	80	79	98.8%
	令和4年	126	103	102	99.0%
	令和5年	87	65	63	96.9%
	令和6年	93	71	71	100.0%
電 気 工 学 科	令和2年	97	79	78	98.7%
	令和3年	88	64	63	98.4%
	令和4年	110	95	94	98.9%
	令和5年	79	70	70	100.0%
	令和6年	98	89	88	98.9%
電 子 情 報 工 学 科	令和2年	151	121	119	98.3%
	令和3年	134	104	100	96.2%
	令和4年	122	98	93	94.9%
	令和5年	119	102	101	99.0%
	令和6年	123	98	91	92.9%
化学システム工学科	令和2年	99	77	75	97.4%
	令和3年	87	64	61	95.3%
	令和4年	119	72	72	100.0%
	令和5年	105	64	63	98.4%
	令和6年	82	56	53	94.6%
社会デザイン工学科	令和2年	111	97	97	100.0%
	令和3年	100	86	86	100.0%
	令和4年	100	83	83	100.0%
	令和5年	97	79	79	100.0%
	令和6年	101	88	88	100.0%
建 築 学 科	令和2年	99	83	81	97.6%
	令和3年	100	84	82	97.6%
	令和4年	99	74	74	100.0%
	令和5年	96	76	76	100.0%
	令和6年	97	79	79	100.0%

7.2 大学院進学

令和2年度から令和6年度までの5年間の工学部全体の大学院進学状況の推移

年度	卒業生数	進学者数	進学率
令和2年度	666	87	13.1%
令和3年度	607	81	13.3%
令和4年度	676	126	18.6%
令和5年度	583	105	18.0%
令和6年度	594	92	15.5%



令和2年度から令和6年度の5年間における工学部学生の進学先

年度	進学先（括弧内の数字は進学者数，1名の場合は省略している）
令和2年度	福岡大学（72），九州大学（10），東京工業大学（2），神戸大学，東京大学，東北大学
令和3年度	福岡大学（65），九州大学（8），立命館大学（3），鹿児島大学，東北大学，長崎大学，東京都立大学，東京工業大学
令和4年度	福岡大学（99），九州大学（14），立教大学，早稲田大学，鹿児島大学，筑波大学，東京大学，山口大学，大分大学，熊本大学，福岡教育大学，岡山県立大学，芝浦工業大学，日本女子大学，福岡歯科大学
令和5年度	福岡大学（92），東京工業大学（3），九州大学（3），東京大学，九州工業大学，熊本大学，佐賀大学，東京都市大学，早稲田大学，東海大学
令和6年度	福岡大学（75），九州大学（4），東京工業大学（3），佐賀大学（2），東京大学，京都大学，神戸大学，千葉大学，九州工業大学，熊本大学，大阪公立大学，法政大学

令和2年度から令和6年度までの5年間の工学部学科別の大学院進学状況の推移

学 科		卒業生数	進学者数	進学率
機 械 工 学 科	令和2年	109	18	16.5%
	令和3年	98	13	13.3%
	令和4年	126	21	16.7%
	令和5年	87	18	20.7%
	令和6年	93	20	21.5%
電 気 工 学 科	令和2年	97	12	12.4%
	令和3年	88	14	15.9%
	令和4年	110	11	10.0%
	令和5年	79	7	8.9%
	令和6年	98	2	2.0%
電 子 情 報 工 学 科	令和2年	151	13	8.6%
	令和3年	134	17	12.7%
	令和4年	122	19	15.6%
	令和5年	119	12	10.1%
	令和6年	123	21	17.1%
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	令和2年	99	21	21.2%
	令和3年	87	17	19.5%
	令和4年	119	44	37.0%
	令和5年	105	37	35.2%
	令和6年	82	21	25.6%
社 会 デ ザ イ ン 工 学 科	令和2年	111	10	9.0%
	令和3年	100	8	8.0%
	令和4年	100	12	12.0%
	令和5年	97	15	15.5%
	令和6年	101	13	12.9%
建 築 学 科	令和2年	99	13	13.1%
	令和3年	100	12	12.0%
	令和4年	99	19	19.2%
	令和5年	96	16	16.7%
	令和6年	97	15	15.5%

第 8 章 地域貢献

工学部および工学研究科では、教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動、ボランティア活動、学外組織との連携協力による教育研究の推進などを行っている。

8.1 社会へのサービス活動

令和 6 年度の講演活動は、工学部・工学研究科全体で 66 件であった。企業や技術者団体、行政機関等が主催する技術者向けの専門性の高い講習会・研究集会での講演をはじめ、環境問題をテーマとした一般市民や学生向けのセミナーなどの幅広い講演活動を行っている。

審議会・委員会活動では、国および地方自治体が設置する審議会・委員会の委員等に就任し、大学研究者としての社会的役割を果たしている。特に、社会デザイン工学科では、景観、交通、都市計画、災害対策など、数多くの審議会・委員会に参画している。

8.2 社会へのボランティア活動

令和 6 年度の社会へのボランティア活動は、工学部・工学研究科全体で 11 件であった。環境問題に対するイベントや出前講座への参画、地域でのボランティア活動を行っている。

8.3 学外組織との連携協力による教育研究の推進

令和 6 年度の学外組織との連携協力による教育研究は、工学部・工学研究科全体で 41 件であった。様々な専門分野において研究成果の実用化や技術者育成等を目指し、行政機関、民間企業、他大学との共同研究、自治体の計画および事業への参画による研究成果の還元等の活動に積極的に取り組んでいる。

8.1.1 社会へのサービス活動 ①講演活動

学科・グループ	活動名（主催者名）
電子情報工学科	朝倉市社会教育講座の講師（朝倉市教育委員会 文化・生涯学習課 生涯学習・スポーツ係）
	福岡半導体リスキリングセンターの講師（公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団）
	福岡県産業・科学技術振興財団 新人社員向け論理回路・HDL設計技術講座（オリンパス株式会社）
	福岡県産業・科学技術振興財団 論理回路・HDL設計技術講座（講師および教材開発）
	福岡県産業・科学技術振興財団 技術講座「電気回路とトランジスタの基礎」（講師および教材開発）
一般社団法人 日本アマチュア無線連盟九州地方本部主催 西日本ハムフェアにおけるセミナー講師	
化学システム工学科	化学工学基礎出前講習会「粉粒体操作」（化学工学会九州支部/旭化成株式会社）
	化学物質による火災・爆発事故防止セミナー「熱分析による危険性評価」（住化分析センター）
	公害防止管理者受験講習会（大気関係）「大気特論」（産業環境管理協会）
	第54回化学工学の基礎講習会「流動」を担当（化学工学会九州支部）
	第54回化学工学の基礎講習会「化学工学基礎」を担当（化学工学会九州支部）
	夏休み子どもサイエンス教室（福岡市西新公民館）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 ごみ処理コース「安全対策と安全衛生管理」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 最終処分場コース「安全対策と安全衛生管理」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 産業焼却コース「安全対策と安全衛生管理」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 産業中間コース「安全対策と安全衛生管理」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 破碎・リサイクルコース「廃棄物処理技術特論」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 破碎リサイクルコース「安全対策と安全衛生管理」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 有機性廃棄物資源化コース「廃棄物処理技術特論」（日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習 産業中間コース「廃棄物処理技術特論」（日本環境衛生センター）
廃棄物処理施設技術管理者講習（日本環境衛生センター西日本支局）	
粉体入門セミナー「液体中の粒子の性質」（日本粉体工業技術協会）	
社会デザイン工学科	JICA研修講義「FUNCTION OF COVER SOIL AND AVAILABILITY OF WASTES AS COVER MATERIAL」
	PUBLIC LIFEのつづき クロストーク登壇「私たちのケイカンジョウレイ」（神端商店会）
	RKBタイマ テレビ出演「Park-PFIについて」（RKB毎日放送株式会社）
	有明海漁漁者手会の勉強会（漁業協同組合）
	石川県で大雨被害 専門家「福岡でも起こり得る」危険水位まで10分 全長短い河川のリスク 都市型水害には『垂直避難』（TNCテレビ西日本）
	一般社団法人 佐賀県地質調査業協会第43回技術講演会「地盤情報共有データベースの構築とその役割」
	学校グラウンドや公園を活用 大型貯水槽を建設しない河川増水対策（西日本新聞）
	九州デザインシャレット「多世代の居場所となる駅前広場のデザイン」（風景デザイン研究会）
	熊本県長洲町水産事業報告会（長洲町）
	講演会「防災と水環境研究の最前線」（低平地研究会）
	国土交通省九州地方整備局 現場学習会・風景デザイン研究会 現地見学会「さいき城山桜ホール・大手前地区」（国土交通省九州地方整備局・風景デザイン研究会）
	国土交通省九州地方整備局 景観研修「地方都市活性化にむけた景観整備の可能性」（国土交通省九州地方整備局）
	ここ古賀チャンネル【福岡県古賀市公式】「古賀駅東口の開発はこうなっていくのか」（古賀市）
	小峠英二のなんて美だ！ テレビ出演「公共施設」（東京メトロポリタンテレビジョン株式会社）
	さいき城山桜ホール来館者数100万人達成記念シンポジウム パネルディスカッション登壇「桜ホールを核とした中心市街地の活性化」（佐伯市）
	佐賀県景観実務者研修会「風景のつくり方」（佐賀県）
	佐賀県市町担当者研修「豊かさの創出に向けた風景のとらえ方・つくり方」（佐賀県）
	菟丘小学校樋井川環境学習会（福岡市中央区）
	シェア！ テレビ出演「新しい公園の形と課題」（株式会社福島放送）
	除染土処分に関する学生ワークショップ実行委員会講演「私の研究内容と日々の想いについて」
	全国清掃公社協議会講演「災害廃棄物処理の現状」
	第17回大学発ベンチャー創出研究会・オンライン講演「プラスチックの材料リサイクルによる「見える化」と業界構図の変貌」
	第18回風景デザインワークショップ パネルディスカッション登壇「デザインフィーについて考える」（風景デザイン研究会）
	土木学会 景観デザイン委員会 令和6年シンポジウム「ランドスケープ・アーキテクトのしごと」（土木学会 景観・デザイン委員会）
	認知機能低下高齢者・マイノリティのためのデザイン合同勉強会 講演「英国スコットランドDSDCに対する現地調査および福岡市内の外部空間」（福岡市）
	廃棄物資源循環学会「災害廃棄物研究部会」勉強会講演「熊本地震の振り返り」
	福岡市城南区梅林校区防災研修（福岡市城南区）
福岡大学国際センター「アジア圏協定校との学生交流セミナー」講義「Let's think about global warming」	
まもなく梅雨！天候エリアの浸水リスクは？ 自宅を“小型ダム”にした専門家も（株式会社TVQ九州放送）	
令和6年度災害廃棄物処理に関する実地訓練・オンライン講演「災害廃棄物に対する平時の備え」	
建築学科	建築構造用鋼材と利用技術セミナー基調講演（一般社団法人 日本鉄鋼連盟）
	建築鉄骨製品検査技術者実技講習会（一般社団法人 全国鐵構工業協会）
	スタッド溶接技術講習会（一般社団法人 スタッド協会）
	第24回音響技術セミナー（一般社団法人 日本音響学会）
	鉄骨製作管理技術者講習会「品質管理と試験・検査」（一般社団法人 鉄骨技術者教育センター）
資源循環・環境グループ	JICA技術研修講師（コンポスト・モニタリング）
	九州環境技術創造道場講師（環境技術創造研究所、北九州市役所）
	市民講座エコスクール（資源循環・環境制御システム研究所）
	認定簡易専用水道検査員・管理技術者・優良検査員更新講習会（全国給水衛生検査協会）
	認定簡易専用水道検査員講習会（全国給水衛生検査協会）
	廃棄物処理施設技術管理者講習講師 最終処分場の維持管理担当（一般財団法人日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習講師 廃棄物処理技術特論担当（一般財団法人日本環境衛生センター）
福岡市PMO技術研修講師（コンポスト・モニタリング）	
ものづくりセンター	久留米少年少女発明クラブへの講師派遣、および競技用機材の作製と貸出（久留米市）

8.1.2 社会へのサービス活動 ②行政等の審議会・委員会活動

学科・グループ	審議会等の名称・職名
電子情報工学科	一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター 企画委員
	一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター 人材育成助成対象選考委員
	九州半導体産業展実行委員
	九州半導体人材育成コンソーシアム人材育成サブWGメンバー
	3次元半導体研究センター長
化学システム工学科	経済産業省 産業構造審議会・臨時委員（火工品検討ワーキンググループ）
	経済産業省 産業構造審議会・臨時委員（特則検討ワーキンググループ）
	社会福祉法人 崇友会 若竹保育園・外部評価委員
	大学改革支援・学位授与機構 学位審査会・専門委員
	木質バイオマス燃料の品質規格の普及へ向けた調査に関する専門委員会・専門委員
	JR古賀駅周辺開発推進協議会・委員長
	NEDO技術委員（SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」ピアレビュー委員）
	一般社団法人 九州貸切バス適正化センター代表理事（会長）
	糸島市総合計画審議会・委員
	エコアクション21地域判定委員会・委員
	大分県「大分市交通円滑化検討会」委員長
	大分県景観アドバイザー
	大分県景観ハンドブック作成業務委託に関する業者選定委員会・委員
	大分県景観計画策定委員会・委員
	大分県津久見市 津久見市中心部の活性化に関する検討委員会・委員長
	大分県津久見市 文化財保存活用地域計画作成協議会・委員
	大分県津久見市 庁舎建設専門家検討委員会・委員長
	大野城市環境政策審議会・委員
	大野城市生活審議会・委員
	大牟田市都市計画審議会・会長
	鹿児島市都市計画道路見直し協議会・委員
	春日市下水道事業経営審議会・委員長
	春日市環境審議会・委員
	北九州市「一般廃棄物収集運搬業務委託における総合評価競争方式審査委員会」・委員
	北九州市環境影響評価審査会・委員
	北九州市景観審議会・委員
	九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会・委員
	九州オープンイノベーションセンター「オープンイノベーション手法によるコーディネート及び新事業創出」に係る「事業推進委員会」委員
	九州大学箱崎キャンパス跡地の土地利用事業者募集に係る事業企画提案審査委員会・委員長
	九州大学箱崎キャンパス跡地利用協議会・委員
	九州地方整備局九州のフィールドに適応した新技術の活用促進プロジェクト・委員
	九州地方整備局コンクリート評価委員会・委員
	九州地方整備局緊急災害対策派遣ドクター（TEC-Doctor）
	九州地方整備局景観委員会・委員長
	熊本県環境影響評価委員
	熊本市液状化対策技術検討委員会・委員
	熊本市有機フッ素化合物対策専門家会議・委員
	久留米市屋外広告物審議会・委員
	久留米市拠点形成・土地利用推進委員会・委員長
	久留米市景観アドバイザー

学科・グループ	審議会等の名称・職名
社会デザイン 工学科	久留米市景観審議会・委員
	久留米市集約型都市づくり推進検討委員会・オブザーバー
	久留米市地域公共交通会議・副会長
	久留米市都市計画審議会・会長
	公益財団法人九州運輸振興センターアドバイザー
	公益財団法人九州運輸振興センター懸賞論文審査委員会・委員
	公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会 土木学会デザイン賞 選考委員会・委員長
	国土交通省九州地方整備局 宮崎ワシントンニアバーム維持管理検討会・委員
	国土交通省九州地方整備局 新たな便益の算出に向けた勉強会・委員
	国土交通省九州地方整備局 下関北九州道路技術検討委員会・副委員長
	国土交通省九州地方整備局 河川維持管理技術検討委員会・委員
	国土交通省九州地方整備局 九州河川技術懇談会・委員
	国土交通省九州地方整備局 東彼杵道路環境影響評価技術検討委員
	国土交通省九州地方整備局 「宮崎海岸侵食対策検討委員会」及び「同効果検証分科会」・委員
	国土交通省九州地方整備局 山国川河川事務所・景観委員
	国土交通省九州地方整備局 新技術活用評価会議・委員
	国土交通省地域道路経済戦略九州地方研究会・委員
	五島市久賀島の文化的景観整備活用委員会・委員
	佐賀県美しい景観づくりアドバイザー
	篠栗町橋梁長寿命化修繕計画・委員
	新宮町橋梁長寿命化修繕計画・委員
	全国トースト技術研究組合・理事
	対馬市厳原地区横町線再整備計画アドバイザー
	天神明治通り街づくり協議会・街づくりアドバイザー
	天神明治通り街づくり協議会街づくり協議委員会・議長
	特定非営利活動法人エコネットふくおか・理事
	土木学会環境システム委員会・委員
	内閣官房水循環政策本部・水循環アドバイザー
	那珂川市都市計画審議会・委員
	長崎県美しい景観形成アドバイザー
	西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議・委員
	久山町都市計画審議会・会長
	広川町地域公共交通協議会・座長・アドバイザー
	広島県竹原市 歴史的風致維持向上計画協議会・委員
	風景デザイン研究会・会長
	風景デザイン研究会主催「九州デザインシャレット」・講師
	ふくおか3Rメンバーズ企画運営委員会・委員
	福岡県 県営西公園再整備検討委員会・委員長
	福岡県 天然記念物「船小屋ゲンジボタル発生地」の隣接地整備に係る検討委員会・委員
	福岡県環境審議会・委員
	福岡県の地域強靱化を考える懇談会・委員
	福岡県雨量通行規制見直し検討委員会・委員
福岡県環境影響評価専門委員	
福岡県警察犯罪予防研究アドバイザー	
福岡県県土整備部・建築都市部公共事業再評価検討委員会・委員長	
福岡県盛土に関する検討会・委員	
福岡県総合計画審議会・委員	
福岡県多々良川流域下水道に係る水質監視委員会・委員長	

学科・グループ	審議会等の名称・職名
	福岡県都市計画審議会・専門委員
	福岡県廃棄物処理計画専門委員会・委員
	福岡国道事務所景観委員会・景観アドバイザー
	福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議・委員長
	福岡市子ども未来局, 福岡市科学館に係る指定管理者評価委員
	福岡市隔地駐車場運営業務提案評価委員会・委員長
	福岡市環境影響評価専門委員
	福岡市景観アドバイザー
	福岡市新西部工場（仮称）事業者選定委員会・委員
	福岡市総合計画審議会・副会長
	福岡市総合評価技術委員会・委員
	福岡市大規模小売店舗立地協議会・委員
	福岡市地下鉄経営戦略懇話会座長
	福岡市都市景観賞・審査委員
	福岡市都市景観審議会・委員
	福岡市都市計画マスタープラン改定検討懇話会・委員
	福岡市都市計画審議会・委員
	福岡市都市交通協議会・会長
	福岡市道路下水道局が所管する公の施設に係る指定管理者候補選定委員会・委員長
	福岡市道路整備懇談会・委員
	福岡市附置義務特例制度審査会・アドバイザー
	福岡地区水道企業団総合評価技術審査委員会・委員
	福岡都市圏技術ナレッジ・アライアンス制度・委員
	福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会・委員長
	福岡北九州高速道路交通問題アドバイザー
	福岡北九州高速道路公社福岡高速道路リフレッシュ工事検討委員会・委員長
	福岡北九州高速道路事業再評価監視委員会副・委員長
	福津市・古賀市産業廃棄物連絡協議会・会長
	福津市環境審議会・会長
	松浦市景観審議会・委員長
	三隈川・大山川河川環境実務者会議・オブザーバー
	宗像市防災都市づくり検討委員会・委員
	宗像市景観審議会・委員／景観アドバイザー
	宗像市国土利用計画等審議会・委員
	柳川市景観アドバイザー／景観審議会・委員長
建築学科	一般社団法人 スタッド協会 スタッド溶接技術検定委員会・委員
	一般財団法人 日本建築総合試験所 建築技術性能認証委員会・委員
	一般財団法人 日本建築総合試験所 建築構造性能評価委員会・委員
	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 建築鋼構造ネットワーク九州地区・幹事
	糸島市公共施設包括管理業務委託候補者選定委員会・委員長
	糸島市公共施設マネジメント検証委員会・委員長
	うきは市浮羽まるごと博物館協議会・会員
	うきは市景観協議会・委員
	うきは市宮西限上団地等整備事業審査委員会・審査委員
	唐津市公共施設再編審議会・会長
	佐賀県環境影響評価審査会・会長
	福岡県環境影響評価専門委員会・委員
	福岡県環境審議会・委員

学科・グループ	4 審議会等の名称・職名
	福岡県耐震改修促進計画改定検討委員会・副委員長 福岡県建築鉄骨協議会・委員長 福岡県建築都市部プロポーザル選定委員会・委員 福岡市空家等審議会・会長 福岡市技術ナレッジ・アライアンス制度・委員 福岡市公共事業再評価等監視委員会・委員 福岡市住宅審議会・委員 福岡市設計プロポーザル技術委員会・副委員長 福岡市総合評価技術委員会・委員 宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会・会長
資源循環・環境 グループ	有明生活環境施設組合ごみ焼却施設運営審査会・委員 大分県産業廃棄物審査会・委員 大野城市生活審議会・委員 沖縄県環境整備センター 令和7年度被覆施設移設等検討委員会・委員 環境省廃棄物処理基準等専門員会・委員 北九州市環境アセス員会・委員 北九州市環境審議会・委員 佐賀県大規模小売店立地審議会・委員 佐賀県廃棄物処理施設専門員会・委員 全国給水衛生検査協会企画運営委員会・委員長 全国給水衛生検査協会ランキング表示制度運営委員会・委員長 全国給水衛生検査協会簡易専用水道検査外部精度管理検討委員会・委員長 中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会・副委員長 ふくおか環境財団理事会・理事 福岡県公害審査会・委員 福岡県総合計画審議会・委員 福岡県産業廃棄物最終処分場等に係る専門家会議・委員 福岡県産業廃棄物処理施設許可専門家会議・委員 福岡県保健環境研究所外部評価委員会・委員 福岡県リサイクル施設整備補助金審査委員会・委員 福岡市空家審議会・委員 福岡市環境審議会・委員 福岡市葬祭場「刻の森」整備事業事業者検討委員会・委員長 福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド運営委員会・委員長 みやま市一般廃棄物収集運搬・処分業者選定委員会・委員 宮若市ごみ処理施設等事業者選定委員会・副委員長 柳川市一般廃棄物収集運搬・処分業者選定委員会・委員

8.2 社会へのボランティア活動

学科・グループ	活動名
電子情報工学科	小中学校生徒の理数系科目の自宅学習支援
	能登半島地震被災者（高校受験者）のオンライン学習指導
	一般社団法人 組込みシステム技術協会（JASA）ETロボコン2025 九州北地区審査委員
化学システム工学科	ロケット教室（野芥公民館など）
社会デザイン 工学科	研究室による警固公園芝生補修活動
	研究室による笹丘小学校での環境学習会実施
	研究室による長尾小学校での環境学習会実施
建築学科	石川県穴水町下唐川地区における災害復興支援活動
	石川県七尾市一本杉通りにおける復興デザイン支援活動
	福岡市香陵校区まちづくり協議会におけるまちづくり活動
	役に立つ建築鉄骨ディテール集の改定（一般社団法人日本鉄鋼連盟 建築鋼構造研究ネットワーク地区事業活動）

8.3 学外組織との連携協力による教育研究の推進

学科・グループ	活動名（連携主体名）
電子情報 工学科	制動機構の制御ソフトウェアにおけるソフトウェアプロダクトライン開発手法適用のケーススタディに関する共同研究（アドヴィックス株式会社）
	プロダクトライン開発方法論の開発現場浸透のための教育方法論に関する共同研究（アイシン・ソフトウェア株式会社）
	無線置局の最適設計に関する研究（日本電信電話株式会社アクセスサービスシステム研究所）
	PLL設計自動化環境の構築に関する研究（株式会社ロジックリサーチ）
	地質データ利用の促進（一般社団法人福雛会地質アーカイブ活用委員会）
化学システム 工学科	GN/BCN系ガス発生剤の添加物による圧力指数への影響（日本化薬株式会社）
	海外製摩擦感度試験部品の性能評価（株式会社東京インスツルメンツ）
	各種酸化剤及び可燃剤混合物からなる消火フェーム成分発生剤に関する研究（日本化薬株式会社）
	ガス発生剤の燃焼及び劣化のメカニズムに関する共同研究（株式会社ダイセル）
	硝酸エステルの新規安定剤の開発（旭化成株式会社）
	硝酸エステル類の貯蔵安定性に関する研究（産業技術総合研究所）
	常温下における酢酸ビニルの異常重合および安全な保管条件に関する研究（株式会社クラレ）
	新規延時薬の開発（カヤク・ジャパン株式会社）
	ニトロセルロースメンブレンの品質評価に関する研究（東洋濾紙株式会社、デンカ株式会社）
バイオディーゼル燃料の品質向上と副生成物の有効活用（銘建産業株式会社）	
社会デザイン 工学科	災害廃棄物情報プラットフォームに基づく支援活動（国立環境研究所）
	博多バイパスデザイン検討（国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所）
	福岡県営西公園における基本設計・デザイン監修（福岡県県土整備事務所、株式会社オオバ）
	福岡筑後プラスチックリサイクルループ研究会（大木町、みやま市、柳川市、大川市、筑後市）
	明治通り交差点デザイン検討（天神明治通り街づくり協議会、株式会社日建設計）
建築学科	1成分形シーリング材の硬化メカニズムの解明（オート化学工業株式会社）
	RCの細孔構造の違いが含浸系材料の表層改質効果に及ぼす影響（株式会社長谷工コーポレーション）
	アルミ型枠工法（ALSP ² 工法）の改良に関する研究（森田建設株式会社）
	カーテンウォールジョイントの水密性能評価モデルの構築（清水建設株式会社）
	鋼管杭継手の共同開発（株式会社岡本建設用品製作所、株式会社テクノ九州）
	鋼管杭頭接合部の共同開発（株式会社テクノ九州、株式会社岡本建設用品製作所）
	シーリング材の硬化速度が保護塗膜層の耐久性に及ぼす影響（株式会社アステックペイント）
	鉄骨梁貫通孔補強工法の共同開発「F・ウィング」製品化（旭化成建材株式会社）
	パーリングシアコネクタを用いた鋼管杭頭接合部の共同開発（岡部株式会社）
	パーリングシアコネクタを用いた合成梁工法の共同開発（岡部株式会社、旭化成建材株式会社、ワンス設計事務所）
	パーリングシアコネクタを用いた柱RC梁S接合部の共同開発（株式会社竹中工務店）
木造トラス工法の共同開発（九州第一工業株式会社、九州第一エンジニアリング株式会社、岡部株式会社）	
資源循環・環境 グループ	Emergency Technical Support Project for Solid Waste Management（国連ハビタット、SWAN福岡）
	大牟田市第三大浦谷埋立地整備計画策定業務 受託研究（大牟田市）
	海面処分場安定化と残留キレート分解に関する研究 受託研究（NPO法人環境技術支援ネットワーク）
	産業廃棄物管理型最終処分場機能診断調査 共同研究（株式会社イーアールシー高城）
	電気分解処理による塩濃度を含み排水の処理について 受託研究（三菱化工機株式会社）
	ドローン及び衛星監視システムを活用した最終処分場における温室効果ガス放出量及びCO ₂ 吸収量のモニタリング技術開発（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
	廃棄物の早期安定化及び副生塩リサイクル試験事業委託 受託研究（公益財団法人鹿児島県環境整備公社）
	令和6年度旧津市白銀環境清掃センター適正閉鎖および廃止調査 受託研究（津市）
	令和6年度新居浜市宮サッカー場環境評価 受託研究（新居浜市）

第9章 工学部の組織体制

令和6年度 工学部の組織体制

<工学部> 氏名及び学科・教室名等

学 部 長

辰巳 浩 社会デザイン工学科

学 科 主 任

山辺 純一郎 機械工学科
江田 孝治 電気工学科
中西 恒夫 電子情報工学科
加藤 勝美 化学システム工学科
佐藤 研一 社会デザイン工学科
池添 昌幸 建築学科
田中 綾子 資源循環・環境グループ

経 理 委 員

山辺 純一郎 機械工学科
岩村 誠人 機械工学科
江田 孝治 電気工学科
小浜 輝彦 電気工学科
中西 恒夫 電子情報工学科
佐藤 寿倫 電子情報工学科
加藤 勝美 化学システム工学科
新戸 浩幸 化学システム工学科
佐藤 研一 社会デザイン工学科
村上 哲 社会デザイン工学科
池添 昌幸 建築学科
穴井 謙 建築学科
酒井 幸仁 図学教室
田中 綾子 資源循環・環境グループ

教 務 担 当

宮田 一司	機械工学科
西田 貴司	電気工学科（令和6年11月30日まで）
小浜 輝彦	電気工学科（令和6年12月1日から）
佐藤 寿倫	電子情報工学科（令和6年11月30日まで）
太郎丸 眞	電子情報工学科（令和6年12月1日から）
瀬戸 弘一	化学システム工学科（令和6年11月30日まで）
松隈 洋介	化学システム工学科（令和6年12月1日から）
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科
田中 照久	建築学科
酒井 幸仁	図学教室

図 書 連 絡 員

遠藤 正浩	機械工学科
篠原 正典	電気工学科
モシニャガ・ワシリー	電子情報工学科
加藤 貴史	化学システム工学科
橋本 彰博	社会デザイン工学科
宮崎 慎也	建築学科
奈尾 信英	図学教室
武下 俊宏	資源循環・環境グループ

研究推進部連絡委員

岩村 誠人	機械工学科
篠原 正典	電気工学科
鈴木 孝将	電子情報工学科
鈴川 一己	化学システム工学科
鈴木 慎也	社会デザイン工学科
太記 祐一	建築学科
奈尾 信英	図学教室
為田 一雄	資源循環・環境グループ

入学・広報担当

○は入学センター委員

林 長軍	機械工学科
辻 聡史	電気工学科（令和6年11月30日まで）
高村 紀充	電気工学科（令和6年12月1日から）
文仙 正俊	電子情報工学科
野田 賢	化学システム工学科
○渡辺 浩	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
柳橋 泰生	資源循環・環境グループ

評 議 員

野田 賢	化学システム工学科
高山 峯夫	建築学科

大 学 協 議 員

末次 正	電子情報工学科
------	---------

教 務 委 員

高橋 伸弥	電子情報工学科
-------	---------

学 生 部 委 員

橋本 彰博	社会デザイン工学科
-------	-----------

図 書 委 員

加藤 貴史	化学システム工学科
-------	-----------

研究推進部委員

山辺 純一郎	機械工学科
--------	-------

入学センター委員

渡辺 浩	社会デザイン工学科
------	-----------

国際センター委員

鈴木 孝将 電子情報工学科

キャリアセンター委員

穴井 謙 建築学科

学生懲戒委員

江田 孝治 電気工学科

教育職員資格審査委員

森山 茂章 機械工学科

篠原 正典 電気工学科

アニマルセンター委員

重松 幹二 化学システム工学科

RIセンター委員

久保田 純 化学システム工学科

渡辺 亮一 社会デザイン工学科

学部調整委員

※は障がい学生支援担当

岩村 誠人	機械工学科（令和6年11月30日まで）
高尾 幸来	機械工学科（令和6年12月1日から）
松岡 毅	電気工学科（令和6年11月30日まで）
辻 聡史	電気工学科（令和6年12月1日から）
※篠原 正典	電気工学科
小野 晋太郎	電子情報工学科（令和6年11月30日まで）
中村 遼	電子情報工学科（令和6年12月1日から）
久保田 純	化学システム工学科（令和6年11月30日まで）
瀬戸 弘一	化学システム工学科（令和6年12月1日から）
渡辺 亮一	社会デザイン工学科（令和6年11月30日まで）
村上 哲	社会デザイン工学科（令和6年12月1日から）
宮崎 慎也	建築学科（令和6年11月30日まで）
穴井 謙	建築学科（令和6年12月1日から）

環境保全センター委員

田中 綾子	資源循環・環境グループ
-------	-------------

動物実験委員会委員

武下 俊宏	資源循環・環境グループ
-------	-------------

エックス線業務責任者

西田 貴司	電気工学科
-------	-------

附属若葉高等学校一貫教育委員会委員

渡辺 浩	社会デザイン工学科（入学センター委員）
------	---------------------

< 委 員 会 >

教育に関する会議

○は教務委員

宮田 一司	機械工学科
西田 貴司	電気工学科
○高橋 伸弥	電子情報工学科
佐藤 寿倫	電子情報工学科
瀬戸 弘一	化学システム工学科
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科
田中 照久	建築学科
酒井 幸仁	図学教室

教育点検・改善委員

(旧 工学部JABEE委員会)

○は教務委員

安東 洋一	機械工学科
小浜 輝彦	電気工学科
○高橋 伸弥	電子情報工学科
中西 恒夫	電子情報工学科
末次 正	電子情報工学科
新戸 浩幸	化学システム工学科
加藤 勝美	化学システム工学科
柴田 久	社会デザイン工学科
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科
池添 昌幸	建築学科
塚越 雅幸	建築学科

入学・広報委員会

○は入学センター委員

林 長軍	機械工学科
辻 聡史	電気工学科
文仙 正俊	電子情報工学科
野田 賢	化学システム工学科
○渡辺 浩	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
山本 俊浩	資源循環・環境グループ

グローバル人材育成委員会

○は国際センター委員

辰巳 浩	学部長
山辺 純一郎	機械工学科
松岡 毅	電気工学科
○鈴木 孝将	電子情報工学科
高橋 伸弥	電子情報工学科
吉村 賢治	電子情報工学科
三島 健司	化学システム工学科
橋本 彰博	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
田中 綾子	資源循環・環境グループ

令和6年度 工学研究科の組織体制

<工学研究科> 氏名及び専攻名

研究科長

佐藤 寿倫 電子情報工学

博士課程前期・修士課程

主 任

高尾 幸来 機械工学

江田 孝治 電気工学

名倉 徹 電子情報工学

新戸 浩幸 化学システム工学

堺 純一 建設工学

田中 綾子 資源循環・環境工学

博士課程後期

主 任

山辺 純一郎 エネルギー・環境システム工学

孟 志奇 情報・制御システム工学

大学院学務委員

新戸 浩幸 化学システム工学

大学院教育職員資格審査委員

名倉 徹 電子情報工学

堺 純一 建設工学

工学部・工学研究科資料集

Vol.17(2025.11)

令和7年11月30日発行

編集・発行 福岡大学 工学部・工学研究科

福岡大学 〒814-0180

福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号

TEL (092) 871-6631 (代表)

TAX (092) 865-6031 (教務三課 工学部事務室内)

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/education/undergraduate/engineering/>

